AZ
441
10

*0029548000*

0029548-000

AZ－441－10

# 上海ニ於ケル資金凍結ト対策

上海駐在参事事務所

1941

ADI

9C-80

AZ
441
10

昭和十六年八月二日

# 上海ニ於ケル資金凍結ト對策

上海駐在參事事務所

上海駐在參事事務所

# 上海ニ於ケル資金凍結

昭和十六年八月二日

AZ
441
3.10

國立國會圖書館
48.7.20

948051

---

## 目次

一、概況
二、米支取引ニ關スル一般許可規則ノ內容
三、凍結令實施ノ影響
四、凍結令實施ニ對スル日本並南京側今日迄ノ對策

附錄

一、包括許可規則第五十八・五十九號
二、外國人關係取引取締ニ關スル總領事告示
三、國府指定人資産處理辦法

一、**概況**　今回ノ凍結令實施ハ當地各方面ニ多大ノ衝動ヲ與ヘタルガ豫々警戒、手配セラレ居リタル爲差當ツテハ一般ニ著シキ困難ヲ生ジ居ラザル模樣ナリ。右入報ニ依リ當地外銀對邦銀間ノ爲替取引並第三國貿易全ク停頓スルニ至リタルガ法幣手形交換並英米系銀行ニ於ケル外貨預金ノ市場レート換算法幣支拂等ハ支障ナク繼續セラレ居レリ。二十九日米支取引ニ關スル一般許可規則第五十八號及第五十九號ノ具体的內容發表セラレタルモ、英米側ノ眞意不透明旁上海第三國貿易並爲替市場ノ前途ニ關シ種々推測行ハレ居レルガ邦人側ハ一般ニ日本側ノ出方如何ニ依リテハ必ズシモ悲觀スルノ要ナカルベシトナシ、當局ノ愼重ナル對策ヲ要望シ居ルモノノ如シ。

## 二、米支取引ニ關スル一般許可規則ノ內容

米國政府ヨリ當地米系銀行ニ對シ二十八日米支取引ニ關シ一般許可規則ノ

內容入報アリタルガ其ノ內容（附錄一）ハ當地米系銀行ノ自由裁量ノ餘地多ク斯カル裁量ノ基礎ハ結局日米關係ヲ繞ル今後ノ國際情勢ニ左右サルヽコトヽナリ、本規則ノ各條項ニ適合スル限リ當地在住邦銀並日本商社等モ一般的許可ヲ附與サルヽコトヽナリ居ル點注目セラレ居レリ。

---

## 三、凍結令實施ノ影響

(イ)爲替市場　當地爲替市場ハ二十六日凍結令入電ト共ニ取引停頓、英米系銀行ト邦銀トノ取引中止サレ、市場ノミナル化シ、法幣不安並外支人間ノ解合ヲ目的トスル思惑賣持筋ノ買埋等ニ因リ爲替一時低落シタルモ當地日支人ノ當地英米系銀行ニ於ケル外貨預金市場レート換算ニ依リ法幣支拂ヲ以テ引出サレタル爲强調ニ轉ジ目下氣迷模樣ニシテ日支側ヲ除ク解合ハ順調進行中ナリ。日支側トシテハ解合フベキモノ小量乍ラ先物

爲替ノ用途並凍結令ノ具体的運用充分判明セザルタメ未ダ進捗シ居ラズ今回ノ措置ニ依リ當地爲替市場ハ今後自由性ヲ喪失シ英米並重慶側ニ依リ統制サルヽコトヽナルベキモ、日本並南京側ノ輸出許可制ノ下ニ獲得サルベキ第三國向輸出ビルハ何等カノ經路ヲ通ジ輸入資金トナラザルヲ得ズ、斯クシテ英米側ノ輸入爲替許可ニ基キ法幣安定委員會ノ決定スル一種ノ公定相場ニテ輸入爲替供給サルヽコトヽナラバ將來公定並市中兩相場ノ出現ヲ見ルニ至ルベシト豫測スル向多シ。

(ロ)第三國貿易

最近當地第三國貿易ハ各國ノ物資獲得戰ノ影響ニヨル土産品輸出漸增ニ對シ第三國ヨリノ輸入ハ船腹不足激化、英米側ニ於ケル當地向輸出統制等ニ因リ漸減傾向ヲ示シ居レルモ結局上海港貿易全体ノ約八〇%ヲ占メ居リタル次第ニシテ、今回ノ凍結令實施ハ當地對第三國

貿易業者ニ對シ深刻ナル波紋ヲ投ジタルガ、當地日本側商社ハ邦銀ノ輸出ビル買止メト相俟ツテ輸出商談ヲ手控ヘ居リタル際ナレバ差程ノ困難ヲ生ジ居ラザル模様ナリ。今後當地第三國貿易ハ許可制ノ基礎ノ上ニ繼續セラレ輸出ハ主トシテ日本並南京側ニ、輸入ハ英米並重慶側ニ夫々統制サル、コト、ナリ船腹問題ヲ別トスレバ結局國際情勢並相互ノ統制ニ對スル手心ニヨリ影響サル、コト、ナルベク對圓ブロツク貿易ハ勢ヒ伸張スベシトノ觀測一般ナリ。

### (ハ)商品市場

凍結令實施入電ニ先ヅ對米輸出品タル生糸、茶、卵、豚毛等一齊崩落シタル一方對米輸入品タル棉花、小麥及小麥粉、石油、紙類等ノ外、對南方輸入品タル砂糖、食米等一齊昂騰シ、綿糸布ハ最初ノ暴騰ヨリ租界不安並ニ江海關ノ輸出禁止措置ニ因リ反落後一時混亂、三十

日輸出禁止解除ニ再ビ昂騰シ居レリ。結局當地商品價格ハ今後法幣不安激化ト第三國品ノ輸入減少等ニ因リ土産品ノ大部分ヲ除外スレバ昂騰傾向ヲ辿ルモノト見ラル。

(ニ)其他　軍票ハ凍結令入電後租界不安並法幣不安ヲ背景ニ當地英米系銀行ヨリ引出サレタル日支人ノ外貨預金ノ一部ガ軍票買繫トナリタル爲强調、四十二圓台維持ノタメ本日迄統制賣出動百二十六万圓。在華紡ハ約六ケ月分ノ原綿ストツクヲ保有シ居リ當分ハ問題ナキモ今後操短擴大ト地場棉依存强化ノ傾向ヲ辿ルモノト豫測セラル。其他外商株低落、金條殊ニ現物暴騰八千元台示現。

## 四　凍結令實施ニ對スル日本並南京側今日迄ノ對策

(イ)日本側ノ對策　內地ノ外國人關係取引取締規則ノ公布實施ニ對應當地

ニ於テハ不取敢二十八日總領事告示（附錄二）ヲ公布シ現地在留邦人ノ對外國人取引ヲ統制スルコト、ナリ、總軍經理部搬出入許可當局ニ於テモ右告示ニ對應、第三國向輸出ニ付テハ内外人ノ別ナク一齊ニ許可書ノ發給ヲ中止シ居リ、海軍側亦水上檢索ノ方法ニ依リ輸出阻止ニ對スル事實上ノ處置ヲナシ居レリ。

(ロ)國民政府側ノ對策

國民政府ハ英米側今回ノ中國人資産凍結令ニ對抗二十九日指定人資産處理辨法（附錄三）ヲ制定、即日公布實施シ當地華人側ノ對英米側トノ取引ヲ取締ルコト、ナリ、尙近ク江海關ニ對シ第三國向輸出取締ニ關スル命令ヲ發スル運ビトナル模様ナルガ夫レ迄ノ暫定的措置トシテ現在ノ處興亞院華中連絡部ヨリ「皮革（毛皮ヲ除ク）、糖及穀、米、小麥、小麥粉、染料及塗料、植物油（但シ食油ニ限ル）、ゴム

（製品ヲ除ク）」、石炭、棉花及棉花屑、麻類（大麻、黄麻、苧麻）及羊毛、原鑛、金屬、機戒及器具、化學製品（醫療用及工業用ニ限リ植物性ノモノ及ビ漢藥類ノ如キハ除外）」ノ第三國向輸出禁止方ヲ要求シ事實上實施セラレ居レリ。尚現狀ニ於テハ密輸出入相當アリ今後更ニ增加スベキハ止ムヲ得ザル所ナルベキモ、江海關ニ對スル興亞院華中連絡部ノ指令ニハ法的根據ナキタメ之ガ強行ハ華外人ニ對スル江海關ノ權威ヲ失墜セシメ却ツテ密輸出入ヲ一層刺戟スル危險ナシトセズ、對外的ニモ亦不必要ナル刺戟ヲ與フル懸念アリ。從ツテ今後速カニ國民政府ヨリ正式ノ指令ヲ發セシメ、日本並南京側ノ對策ヲ統一化シ、運用ノ適正ヲ圖ル爲日華協力委員會ノ如キモノヲ設置スベシトノ意見一部ニ見受ケラル

（附錄一）

## 包括許可規則第五十八號

一、包括許可ハ米國ト滿洲ヲ除ク全支トノ間ニ於ケル商品ノ輸出入ニ通常附隨スル凡ユル取引ガ次ノ諸條項ニ適合スルコトヲ條件トシ附與サル丶モノトス

(a)取引ガ

(1)支那以外ノ被凍結國

(2)滿洲在住民

(3)支那以外ノ被凍結國民ニシテ支那ニ在住セザル者

ニ依リ行ハレ又ハ其爲ニナサレ或ハ其指圖ニ依ルモノニ非ザルコト

(b)取引ガ前項(1)又ハ(2)又ハ(3)ニ該當スル者ガ該規則ノ效果發生ノ當日又ハ以後利害關係ヲ有セル財產ヲ含マザルコト

(c)米國内ノ凡ユル銀行ハ信用狀ノ發行確認又ハ通告、手形ノ引受又ハ支拂信用狀ニ基ク支拂金ノ償還、本令ニ依ル包括許可ニ伴フ凡ユル輸出入ニ關聯スル其他一切ノ支拂又ハ信用ノ移轉及本令ニ依リ認メラレタル其他一切ノ取引實施ニ際シ豫メ船積書類其他ノ材料ニ依リ左記ノ事項ニ付確認スベシ

(1)取引ガ凡テ善意且ツ正常ナル輸出入ニ屬シ、斯カル輸出入ノ價格ガ斯カル取引ノタメニ爲サレタル融通金額ニ相當スルモノナルコト

(2)輸出入ガ本規則ノ凡ユル條項ニ符合シ又ハスベキモノタルコト

二、本規則ニ依リ認メラレタル凡ユル取引ニ從事スル米國内ノ銀行ハ斯カル取引ニ關聯スル貸借勘定證明書ヲ添ヘ取引内容明細月報ヲ最寄ノ聯邦準備銀行ニ提出スベキモノトス

三、本規則ニ於テ支那在住民トハ一九四一年六月十四日當日ソレ以來支那ニ在住シ且ツ支那ニ於テ營業ヲ繼續セルモノヲ云フ

## 包括許可規則第五十九號

一、包括許可ハ下記ノ銀行ノ支那ニ在ル**オフイス**ニ附與サルヽモノトス

(a) The Chase Bank
(b) National City Bank of Newyork
(c) Underruriters Savings Bank
(d) American Express Company
(e) Moscow Narodny Bank, Ltd.
(f) Thos. Cook and Son Bankers, Ltd.
(g) HongKong & Shanghai Banking Corporation
(h) Mercantile Bank of India, Ltd.
(i) David Sassoon & Co, Ltd.
(j) E.D. Sassoon & Co, Ltd.
(k) E.D. Sassoon Banking Co, Ltd.
(l) Chartered Bank of India, Australia & China Ltd.
(m) Nederlands Indis Handels Bank
(n) Nederlendsche Handel Maatschappij

二、右包括許可ハ右銀行ニ對シ滿洲ヲ除ク支那ト左記ノ諸地域トノ間ニ於ケル輸出入及通常斯カル輸出入ニ附隨スル取引ニ對スル金融ヲ爲ス權限ヲ認ムルモノトス

(a) 米國

(b) 一般的許可規則第五十二號ニ規定サレタルアメリカ共和國

(c) 英帝國

(d) ソ聯邦

(e) 蘭領印度

但シ斯カル權限ハ被凍結勘定ヨリノ支拂振替又ハ引出ヲ許容スルモノニアラズ、尙前記銀行ハ信用狀ノ發行確認又ハ通告、手形ノ引受又ハ支拂、信用狀ニ基ク支拂金ノ償還、本令ニ依ル包括許可ニ伴フ凡ユル輸出入ニ關聯

スル其他一切ノ支拂又ハ信用ノ移轉及ビ本令ニ依リ認メラレタル其他一切ノ取引實施ニ際シ豫メ船積書類其他ノ材料ニ依リ左記ノ事項ニ付確認スベキモノトス

(1)斯カル取引ハ凡テ善意且ツ正常ナル輸出入ニ屬シ斯カル輸出入ノ價格ガ斯カル取引ノタメニスル融通金額ニ相當スルモノナルコト

(2)斯カル輸出入ハ本規則ノ凡ユル條項ニ符合シ又ハスベキモノタルコト

三 本規則ニ依ル包括許可ハ既ニ公表セラレタル被凍結國籍人ニ依リ行ハル、又ハ其爲ニナサレ或ハ其指圖ニ依ル、又ハ斯カル國籍人ガ該規則ノ效果發生ノ當日又ハ以後利害關係ヲ有セル財産ヲ含ム凡ユル取引ニ付認メラル、ベキモノニアラズ

四 前記指定銀行ノ勘定ヨリ支拂、振替又ハ引出ヲナシタル米國内ノ銀行ハ取引内容明細月報ヲ最寄ノ聯邦準備銀行ニ提出スベキモノトス

（附錄二）

告示第一九號

外國人關係取引取締ニ關スル件

下總領事ノ指定スル者ヲ對手方トシ又ハ總領事ノ指定スルモノノ爲ニ左ニ揭グルモノノ取得又ハ處分ヲ爲スニハ總領事ノ許可ヲ要ス

㈠不動產ニ關スル權利

㈡事業、營業又ハ事業若クハ營業ニ對スル投資

㈢價格二十圓以上ノ有價證券

㈣外國爲替又ハ內國爲替

㈤一月ヲ通シ五百圓（法人以外ノ場合ハ世帶每ニ五百圓）以上ノ軍票又ハ法幣（中華民國ニテ行ハルル支拂手段トシテノ小爲替ヲ含ム）

㈥第五號以外ノ外國通貨

㈦第三號乃至第六號以外ノ動產ニシテ價格百圓ヲ超ユルモノ

二、總領事ノ指定スルモノヲ對手方トシ又ハ總領事ノ指定スルモノノ爲ニ左ニ揭グル行爲ヲナスニハ總領事ノ許可ヲ要ス、但前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハコノ限リニ非ズ

(一)貸付金ノ貸付又ハ囘收
(二)借入金ノ借入又ハ返濟
(三)預金ノ預入又ハ引出
(四)預金ノ受入又ハ拂出
(五)債權債務ノ相殺
(六)債務ノ保證又ハ引受
(七)前各號ニ揭ゲラレザル債權又ハ債務ノ取得若クハ處分

三、總領事ノ指定スルモノヲ對手方トシ又ハ總領事ノ指定スル者ノ爲ニ第一

項第一號、第三號及第五號乃至第七號ノ財産ニ關シ左ニ掲グル行爲ヲ爲スニハ總領事ノ許可ヲ要ス、但シ第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハコノ限リニ非ズ

㈠寄託ヲ爲シ又ハ寄託ヲ受ケル事
㈡寄託ヲ爲シタルモノヽ返還ヲ受クルコト
㈢寄託ヲ受ケタルモノヽ返還ヲ爲スコト
㈣使用貸借ヲ爲スコト
㈤賃貸借ヲ爲スコト
㈥消費貸借ヲ爲スコト
㈦轉貸借ヲ爲スコト

四 前三項ノ規定ハ左ニ掲グル場合ニハ之ヲ適用セズ

(一)公租公課其他ニ準ズルモノノ支拂ヲ受クルトキ

(二)總領事ノ指定スルモノノ使用人其他從業者ガ俸給々與、其他之ニ準スルモノノ支拂ヲ受クルトキ

(三)總領事ノ指定スル場合ニ該當スルトキ

右告示ス

昭和十六年七月廿八日

在上海
總領事　堀内千城

告示第二〇號

昭和十六年七月二十八日附告示第一九號「外國人關係取引取締ニ關スル件」ニ關シ指定スルコト左ノ如シ

一、米國人（米國領及「フイリツピン」聯邦市民ヲ含ム以下同シ）米國法人
米國系法人及米國領域内居住者

右告示ス

昭和十六年七月二十八日

在上海
總領事　堀内干城

昭和十六年七月二十八日

在上海總領事　堀　内　干　城

右告示ス

米國系法人及米國領域內居住者

一　米國人（米國領及「フィリッピン」群島市民ヲ含ム以下同ジ）米國法人

二　關シ指定スルコト左ノ如シ

昭和十六年七月二十八日附告示第十九號「外國人關係取引取締ニ關スル件」

告示第二〇號

---

告示第二一號

昭和十六年七月二十八日附告示第二〇號ニ追加及訂正ヲ行フコト左ノ如シ

昭和十六年七月二十八日附告示第十九號「外國人關係取引取締ニ關スル件」ニ關シ左記㈠ノ國家及領域ヲ指定シ左記㈡ノ者ニ適用ス

記

一、㈠「アメリカ」合衆國

㈡「アメリカ」合衆國領地全体

㈢「フイリッピン」聯邦

㈣加奈陀

㈤「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」聯合王國

二、㈠指定國及指定國ノ行政區劃並ニ之ニ準スルモノ

[illegible]

㈠「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」聯合王國

㈡加奈陀

㈢「[illegible]」聯邦

㈣「アメリカ」合衆國領地全体

㈤「アメリカ」合衆國

記

[illegible]左記一ノ國家及領域ヲ指定シ[illegible]ノ各ニ適用ス

昭和十六年七月二十八日附告示第十九號「外國人關係取引取締ニ關スル[illegible]

昭和十六年七月[illegible]十八日附告示第二〇號ニ追加改正ヲ[illegible]左ノ如シ

告示第二十六號

---

㈡前號以外ノ指定國法人

㈢實質上前號ニ準スル法人

㈣法人ノ支店其ノ他ノ營業所ニシテ指定國ニ在ルモノ

（註、指定國法人、指定國系法人以外ノ法人ニ關スル規定ナリ）

㈤指定國ノ國籍ヲ有スル人及指定國ニ住所又ハ居所ヲ有スル人

右告示ス

昭和十六年七月二十九日

在上海
總領事　堀内干城

告示第二二號

一、昭和十六年七月二十八日附告示第一九號「外國人關係取引取締ニ關スル件」ニ關シ左ノ國家及領域ヲ追加指定ス

㈠印度

㈡香港

㈢和蘭國

㈣蘭領東印度

二、昭和十六年七月二十八日附告示第一九號「外國人關係取引取締ニ關スル件」中左ノ通訂正ス

一、㈣括弧内「小爲替」ヲ「小切手」ニ改ム

右告示ス

昭和十六年七月三十日

在上海
總領事　堀内干城

（附錄三）

## 國府指定人資産處理辦法制定

**第一條**　財政部ノ指定スルモノヲ對手方シ又ハ財政部ノ指定スルモノノ爲ニ左ニ掲グルモノノ取得又ハ處分ヲナスニハ必ズ財政部ノ許可ヲ受クベシ

一、不動産ニ關スル權利
二、事業、營業及ビ事業又ハ營業ニ對スル投資
三、有價證券
四、內國爲替及ビ外國爲替
五、每月五百元以上ノ通貨
六、外國通貨
七、ソノ他百元以上ノ動産

第二條　財政部ノ指定スルモノヲ相手方トシ又ハ財政部ノ指定スルモノノ爲ニ左ニ掲グル行爲ヲナスニハ必ズ財政部ノ許可ヲ受クベシ、但シ第一條ノ許可ヲ受ケタル場合ハコノ限リニアラズ

一　貸付金ノ貸付及回收

二　借入金ノ借入及返濟

三　預金ノ預入レ及引出シ

四　預金ノ受入レ及拂出シ

五　債權債務ノ相殺

六　債務ノ保證及引受

七　前各號ニ掲ゲザル一切ノ債權、債務ノ取得及處分

第三條　財政部ノ指定スルモノヲ相手方トシ又ハ財政部ノ指定スルモノノ

爲ニ第一條ニ掲ゲタル財産ニ就キ左ニ掲グル行爲ヲナスニハ必ズ財政部ノ許可ヲ受クベシ、但シ第一條及第二條ノ規定ニヨリ特ニ許可ヲ受ケタル場合ハコノ限リニアラズ

一、財産ノ寄託及受託

二、寄託財産及受託財産ノ返還

三、使用貸借、賃貸借、消費貸借及轉貸借

第四條　左記ノ場合ハ前各條ノ規定ヲ適用セズ

一、各種損税ヲ收受スル場合

二、財政部ノ指定スルモノ、使用人及其他ノ從業者ガ俸給、給與其他コレニ類似スルモノ、支拂ヲ受クル場合

三、財政部ニ於テ特ニ許可セル場合

第五條　前記各條ノ規定ニ違反スル者ハ五千元以下又ハソノ違反セル財産額ノ三倍以上五倍以下ノ罰金ニ處シ又ハ一ケ月以下ノ徵役ニ處ス

第六條　本辦法ハ公布ノ日ヨリ之レヲ施行ス

## 國府「指定人資産處理辦法」制定

（財政部布告第一一〇號）中華民國三〇年七月二十九日、本部第一〇號部令ヲ以テ公布セル指定人資産處理辦法第一條乃至第四條ノ規定ニ基キ指定スルコト左ノ如シ

一、アメリカ合衆國、アメリカ合衆國屬領全體、フイリツピン聯邦、カナダグレイトブリテン及北部アイルランド聯合共和國（以下略シテ指定國ト稱ス）

二、指定國ノ行政區域及之ニ準スルモノ

三、前號以下ノ指定國法人

四、實質上前號ニ準スル法人

五、法人ノ支店其他ノ營業所ニシテ指定國ニアルモノ

六、指定國ノ國籍ヲ有スル人及指定國ニ住所又ハ居所ヲ有スル人

極秘

昭和十六年九月五日

外國爲替局長來電

午後六時發信
午後十一時半受取

第二一號

資金凍結後ニ於ケル左記ノ事情御回報相煩シ度シ。

(イ)軍配組合引續キ軍票物資ノ賣却ヲ繼續シ居ルヤ、繼續ノ場合其理由竝ニ七月中ノ賣却金額

(ロ)英國ノ對第三國輸出許可制ハ如何ナル手心ヲ以テ實施シ居レルヤ、第三國ヨリノ船舶入港貨物入荷ノ實情

(ハ)法幣安定資金ノ活動模樣竝ニ闇市場ノ實情

(ニ)海關收納儲備銀行券建實施後ノ模樣

(ホ)儲備券ノ法幣引換制限ノ經過今後ノ見透

極秘

昭和十六年九月八日　上海駐在參事

外國爲替局長殿

貴電第二一號軍配組合ノ件左記ノ通リ御回答申上候也

記

(イ)軍配組合引續キ軍票物資ノ賣却ヲ繼續シ居ルヤ、繼續ノ場合其理由並ニ七月中ノ賣却金額

軍配組合ハ資金凍結後内地ヨリノ物資供給減少見越ノ軍票强調ノ際ニテモアリ可及的商品ストツクヲ豐富ナラシムル方針ヲ採リ居レルモ配給網組織ノ維持民生ノ必需充足等ノ見地ヨリ實需ノ一部ニ對シ販賣ヲ繼續、

極秘

[illegible]係ノ輸出民主ノ必需充足等ノ見地ヨリ實情ノ一層ニ[illegible]ヲ調整ス

セラリ可及的品目又ハ數量ヲ[illegible]ナラシムル方針ヲ採リ居レルモ[illegible]

實施場合ハ資金凍結後内地ヨリノ物資供給減少見越ニ[illegible]業者間ノ[illegible]

十月中ノ實施[illegible]

（ロ）軍[illegible]

記

貴電第三一號御照會ノ件在京關[illegible]回答申上[illegible]也

外務大臣豐田貞次郎殿

上海總領事

昭和十六年九月八日

---

但シ當業者間ノ組合ト睨ミ合セ配給量ヲ判斷スル一方場合ニヨリテハ拔檢査ヲ行フ意圖モアル模様ナリ

七月中ノ販賣金額千二百五十萬三千圓（前月比百十七萬四千圓増）八月分ハ相當減少ノ見込

（三）（1）蘭印ノ對第三國輸出許可制實施ノ手心

蘭印ノ輸出許可制實施ニ關シ、其ノ事務決定機關タル輸出審査委員會（外務、經濟、農業及[illegible]院等關係諸機關ノ係官ヲ以テ組織）ノ現在迄ノ輸出許可申請取扱状況左ノ如シ

| | | |
|---|---|---|
| 許可 | 一二七件 | 二七％ |
| 留保（不許可的性質ノモノ） | 一〇二 | 二一 |
| 不許可 | 二四三 | 五一 |
| 合計 | 四七二 | 一〇〇 |

|  |  |  |
|---|---|---|
| 合計 | 四七二 | 一〇〇 |
| 不許可 | 二四三 | 五一 |
| 審議（八割ハ不許可的措置） | 一〇四 | 二一 |
| 許可 | 一二七件 | 二七% |

從ツテ輸出許可申請未決數殆ンド無キ如シ

（外務、陸軍、海軍、大藏、農林、商工各省代表者ヲ以テ組織）ノ審査

輸出ノ輸出許可制實施ニ際シ、其ノ都度外交機關タル輸出審査委員會

(ロ)輸出ノ佛領三國向輸出許可制實施以來一年余

分ハ概ネ許可ノ見込

七月中ノ輸出實績金額千三百五十萬三千圓（前月比百十七萬四千圓増）八月

密貿ヲ行フ業者モアル模様ナリ

從ツテ業界團體ノ統合ト睨ミ合セ措置ヲ採用スル一方都合ニヨリテハ追

---

前記七二件ノ約八〇％ハ要輸出許可貨物中ノ「金屬及同製品」ナルガ此ノ中許可トナレルハ鐵製品中ノ一部、例ヘバ縫針（アメリカ向許可印度、ジャバ向不許可）、鐵釘、安全ピンノ如キ細（ゴマ）々トセルモノニシテ、鐵棒、鐵板、鐵塊、工作機械、非鐵金屬ノ四品、鐵管等ハ不許可ナリ

金屬及同製品ニ次イデハ「化學藥品（醫療用及工業用）」ノ申請多キモ殆ド不許可、「綿花及同製品」ハ申請件數相當アリタルモ全部不許可、「羊毛」ハ不許可、「小麥及小麥粉」ハ留保三、四件ノ現状ナリ

右ノ外佛印向輸出ニ關シテハ、鐵製品ニ付テハ佛印ニ於ケル大本營出張所ノ許可ヲ得タルモノニ限リ許可シ、其他ノ日用品ニ付テハ佛印ノ正當ナル需要量ヲ勘案シテ當局限リ許可シ、同時ニ其ノ旨佛印ニ通牒

シ他ハノ輸出ヲ嚴重ニ管理セシムル方針ニテ、現行佛印向援蔣物資輸出禁止措置ヲ一部緩和スベク、現在一千件以上（一千萬元以上）ノ輸出許可申請ヲ當局ニ留保中ナリ

(ロ)第三國ヨリノ船舶入港、貨物入貨ノ實情

現地軍當局ニ依ル物資搬出入ノ徹底強化ニ加ヘ（註）右措置ハ對第三國貿易ノ今後ノ推移ヲモ睨ミ合セ益々手心ヲ加ヘ（現行ノ方針ナリ）、尤ノ如ク海關側ノ輸出統制ハ可成リ嚴重ニシテ、當業者ノ手當モ困難、從ナ貿易ノ決濟モ思ヒツケ難ク、加フルニ英米側ノ使用ニ依ル船腹不足ノ拍車スルアリ、八月中ノ第三國船入港ハ從前ニ比シ極ネ半減、從テ貨物入貨モ激減セリ、之ヲ最近ニ於ケル海關稅收ノ推移ニ見ルニ左ノ如シ

| | 法幣 | 華興券 |
|---|---|---|
| 六月 | 二七、六三〇千元 | 四二千圓 |

六月　二七、六三〇千元　四三千圓

千數萬ナリ。之ヲ最近ニ於ケル海關統計ノ數字ニ見ルニ左ノ如シ
アリ。八月中ノ第三國輸入額ハ從前ニ比シ殆ド半減、從テ貨物入荷ヲ貿易ノ統制モアリ、加ヘテ英米側ノ撤退ニ依ル物資不足ノ結果スノ如ク奥地側ノ輸出統制ハ可成リ徹底ニシテ、為替ノ手當モ困難、從貨品ノ今後ノ輸入ヲモ睨ミ合セ適宜手心ヲ加ヘ運行ノ方針ナリ）、次現地當局ニ依ル物資輸出入ノ徹底強化ニ加ヘ（(註)右措置ハ對第三國

(ロ)第三國ヨリノ輸輸入港、食物入貨ノ實情

出帮ハ市場價ヲ[illegible]ニ留保中ナリ

出荷主營業ヲ一部截止スルヲ、現在一千萬以上（一千萬元以上）ノ金ヲ他ヘノ流出ヲ防遏ニ努シムル方針ニテ、現行幣制維持ニ努

---

七月　三一、〇二九千元　六千圓

八月　二一、二三三

(四)右數字ハ輸出入其他合計ニシテ且ツ對日輸出分ヲモ含ム、尙昨年同期ノ實績左ノ如シ

六月　三、五二六千元　一一、七九三千圓

七月　三、〇四七　一四、六八四

八月　二、八九一　一二、五〇九

(一)法幣安定資金ノ活動並闇市場ノ實情

法幣安定資金ハ米、小麥、小麥粉、石炭、綿花等生活必需品ノ輸入ニ對シ去ル八月十八日爲替割當開始、其額今日迄ニ約三百萬米弗（主トシテブラジル綿輸入）ニ達シタリト傳ヘラレ居ルモ目下ノ市場實需ノ總額ニ對

シテハ問題トナラズ名トノミナル状態トナリ闇市場ヲ出現セシムルニ至レリ。右ハ主トシテ左記事情ニ基因スルモノト見ラル

(イ)所謂「正當ナル輸入」ノ内容不明瞭ナル上委員會ノ之ニ對スル見解一貫セザルコト、即チブラジル綿花ノ輸入ハ一旦許可セラレタルモ最近ニ至リテ不許可扱トナリ、又小麥粉ハ生活必需品トシテ許可セラレ居リタル處其後之以上ノ輸入ハ再輸出サル、懸念アリトシテ、不許可扱、石炭ニ關シテハ佛國炭並スターリング・ブロツク及ヒ米弗ブロツク以外ノ石炭ニ對スル委員會ノ態度未決定等ノ事情ニ依リ爲替銀行ハ公定レートニ依ル取扱方ニ付困惑シ居レリ

(ロ)輸入商社ハ十項目ヲ記入セル申請書正副ヲ爲替銀行ヲ通シ委員會ニ提出スルコト、ナリ居レルガ第十項ノ内容ハ輸入商品ガ正當ナル目的ニ

出スルコトハナリ居ルガ第十項ノ内容ハ輸入商品ガ正常ナル目的ニ

(二)輸入品並ニ十項目ヲ記入セル申請書正副ヲ為替銀行ヲ通シ委員会ニ提
シ一ケ年ニ於ル数額方ニ付協議シ居レリ

外ノ不良品ニ関スル委員会ノ審査未決定等ノ事情ニ依リ為替銀行ハ公定
右表ニ関シテハ価由長官令ヲ出シタ。アロワタ最高未満ア四ワタ以
リタル種其数之以上ノ輸入ハ非輸出サル、概念アリトシ、不許可措
ニ至リテ不許可数トナリ、又小麦粉ハ生活必需品トシテ許可セラレタル品
買セサルコト、即チブラジル諸港ノ輸入ハ一旦許可セラレタルモ最近

(一)所謂「正常ナル輸入」ノ内容不明確ナル上委員会ノ之ニ対スル見解一
ナリ。右ハ主トシテ左記事情ニ基因スルモノト見ラル。
シテハ問題トナラズ若シ非常ナルトキハ問題トナリ出願セザルニ至

使用セラレタルヤ否ヤニ付取扱銀行ヲシテ責任ヲ負ハシメ、若シ右ニ
違反セル場合委員会ニ於テ為替ヲ買戻スコトヽナリ居ル為、為替銀行ハ公
定レートニ依ル取扱ニ対シ著シク躊躇スルコト

(三)中国為替統制委員会香港辦事処ノ許可ヲ得ル為約三週間ヲ要シ而モ確能
(一)ノ事情ニ依リ許可セラル、ヤ否ヤノ点不明ナルコト
(二)輸出ビルニ対スル処置未決定ノ為輸出ビルハ有利ナル闇レートニテ買
取サレ居ルコト、尤モ現在ハ第三国輸出為ト停止状態ニテ新規輸出ビ
ル極少量ナルモ実施以前ノモノガ闇レートニテ取引セラレタル模様ナ
リ

新タナ昨日迄ハ近ク香港ニ於テ開催セラルヘキ法幣安定委員会第二回
全体会議ノ結果闇市場統制ト共ニ公定レートニ依ル外貨供給円滑化ス

ベキコトヲ期待ス實體的證シテ見透ニ開市場ハ思惑筋ノセツトオツフ以外殆ト取引ナキ實情ナリシ處本日左記內容ノ法幣安定委員會ノ開市場絶滅方針傳ヘラレ開市場モ名ノミナル化スルニ至レリ。

(一)九月中公定レートニ依ル輸入爲替ノ供給ヲ受クベキ商品竝ニ金額ハ

| | |
|---|---|
| 食米 | 一〇〇〇〇〇〇米弗 |
| 石炭 | 一〇〇〇〇〇〇〃 |
| ガソリン | 九〇〇〇〇〇〃 |
| 煙草 | 七五〇〇〇〇〃 |
| 砂糖 | 無制限（一説ニハ研究中トモ云ハル） |
| 在留米人ノ家族宛送金一人ニ付 | 二〇〇〃 |

ニシテ綿花輸入ハ當分許可セラレザルコト

(二)其他ノ輸入ニ對シテハ公定レートニテ買取リタル輸出ビル金額ノ範

國內ニ限ルコト

(四)固定レートニ依ル為替賣買ヲナシタル銀行ニ對シテハ為替指定銀行タルコトヲ取消スコト

以上ノ措置ニ依リ闇市場ヲ撲滅セシムルタメニハ法幣安定資金ハ月々五大量ノ米弗ヲ消耗スルコトヽナルベキモ為替ノ闇ハ效果的ニ實行セラルヘシト見ル向多シ

ルヘシ[illegible]見ル向後ヲ
六億元未満ヲ[illegible]分ノ間ハ要求的ニ實行シ[illegible]
以上ノ様ニ依リ開市場ヲ消化セシムルモノニハ金融安定[illegible]
ルコトヲ要[illegible]コト
[illegible]關シ[illegible]證券賣買ヲナシ得ル銀行ニ對シテハ證券指定銀行ヲ
國內ニ限ルコト

---

### (一) 海關收納儲備券建實施後ノ模樣

海關收納儲備券一本建ハ海關當局トノ間ニ格別紛議モナク九月一日展開實施ヲ見タル次第ニシテ納稅者側ニ於テモ特ニ不便ナキ模樣ナリ九月五日迄ノ實際收納狀況左ノ如シ

| | 儲備券 | 儲備小切手 | 儲備券預銀行保證小切手 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 九月一日 | 一二四千元 | 一九二千元 | 六二八千元 | 九四四千元 |
| 二日 | 一五八 | 三九〇 | 三二七 | 八七五 |
| 三日 | 一三三 | 五一三 | 四九九 | 一、一四六 |
| 四日 | 一四七 | 六〇一 | 六五三 | 一、四〇一 |
| 五日 | 一六三 | 九二三 | 三一四 | 一、四〇〇 |

### (二) 儲備券ノ法幣引換制限ノ經過今後ノ見透

新發兌兌換儲備券ハ本年九月一日ヨリ實施ノ旨八月十五日附財政部ヨリ發表アリ法幣不安加重セラレ二十日頃ヨリ上海分行ニ於ケル當法幣ヲ以テスル儲備券引換要求激増シ、一日件數千二三百口金額百萬圓ヲ超過スルニ至リタルニヨリ儲備當局ハ二十七日ヨリ一口引換額ヲ五百元本日制來更ニ三百元ニ制限セタル結果最近ハ一日件數七、八百口金額二十萬元乃至四十萬元程度ノ狀態ニシテ其中ニテハ儲備券百元ニ付二元乃至二元ノプレミアム唱ヘラレ居レリ、尤儲備券需要者ノ大部中ニハ勿論納税用ノ實需存スヘキモ前記税關收入實績ノ示ス如ク納税用ノ儲備券需要ハサ程多カラサル實情ナリ從ツテ主因ハ法幣不安ヨリ儲備券ノ法幣等價値騰ヲ見越セル向ノ投機目的ニ存スルモノト認メラル從ツテ儲備券引換要求ハ尚當分存續スルモノト見ラレ儲備當局ハ兌換券新刷出來高不十分ヲ

不健全需要審査ノ見地ヨリ差當リ實需以外ノ引換制限繼續ノ方針ヲ採リ居レリ

[illegible]

---

極秘

海十16号

# 上海市場ノ国際性ト華中蚕絲会社ノ生糸処分問題

## 一

米方面ノ確実ナル情報ニ依レバ幣制安定委員会ノ一員タルマニユエル・フオツクスハ最近米本国ヨリ指令ヲ受ケ支那ニ於テ獲得可能ノ生糸数量ヲ調査シツツアル外ジヤーデン・マデソン等当市第三国系生糸輸出商ヲ通ジ其ノ買付ニ狂奔シツツアル模様ナリ

然ルニ支那ニ於ケル最主要生糸市場タル当地ノ状況ハ

(イ)生糸ヲ時々独占セル華中蚕絲会社ガ買止メヲナシツツアルコト

(ロ)スマグル等ニ依リ当地市場ニ現ハルル所謂自由糸ガ払底セルコト

等ニ依リ市場ノ取引ハ極メテ僅少ニシテ糸価モ一俵七千五百支弗（内地生糸ヨリ時々相当セルモノ）ノ高値唱ヘ乍ラ殆ンドノミナル相場ト化シツ

糸口場ニ陥ルヲ相当トスルモ、一ノ、ノ端境期ハ年ヲ越シテアノ春年中相場ト化シツツ

会ニ依リ市場ハ取引ハ極メテ僅少ニシテ糸価モ一俵七千五百元前後（円建）会

（ロ）又ヲダル場合ニ依リ當地市場ニ現ハルル民間自由糸ガ激減スルコト

（ハ）供給ヲ殆ド獨占セル華中蠶絲會社ガ賣止メヲナシタルコト

然ルニ支那ニ於ケル最主要生絲市場タル當地ノ現況ハ

、實質ニ疲弊シツツアル状態ナリ

逐シツツアル外商ヂャーヂン・マヂソン等英第三國系生糸商ハ困難ヲ極メ其

キウクスヘ最近米本國ヨリ勧合ヲ受ケ支那ニ於テ蒐集可能ノ生糸数量ヲ調

査方面ノ調査ナル指令ニ依リ米國生糸安定委員會ハ一萬ヲ下ラザルモノア

一

上海市場ノ同業者ト華中蠶絲會社ノ生糸還令問題

---

ツアリ

右ノ如キ情勢ハ生糸ガ

（イ）安全保障後日本ガ當地市場ヲ握メ貿易上ノアピールスヲ試ミルトスレバ其ノ最重要手段ノ一タリ得ルコト

（ロ）場合ニヨリテハ我ガ内地生糸モ當地ニテ消化可能ナルコト

（ハ）中支物資獲得ニ要スル最優安全確實ノ有力ナル手段タルベキコト等

ヲ示唆シ居レルモノニテ、華中蠶絲手持生糸ノ處置ハ誠ニ考究ヲ要スベキ點ナレドモ、當地關係當局ノ意向ハ未ダ定ラザルモノ、如シ。

一

安全保障確立後ニ於ケル華中蠶絲ノ手持状況ハ左ノ如シ

生糸　一〇、〇〇〇俵

出糸　一〇、〇〇〇俵

資金凍結措置ニ對スル華中蠶絲ノ年度先買ハ繼續

據ナルモ、當地關係當局ノ意向ハ未ダ定ラザルモノノ如シ。

ヲ示唆シ居レルモノニテ、華中蠶絲手持生絲ノ處置ハ急ニ考究ヲ要スル中

(イ)中支蠶絲業務ニ要スル運轉資金融通ノ有力ナル手段タルベキコト

(ロ)場合ニヨリテハ輸入內地生糸ヲ當地ニテ消化可能ナルコトノ最主要手段ノ一タリ得ルコト

(ハ)資金凍結後日本ガ當地市場ヲ通ジ貿易上ノマイナスヲ認ムルトスレバ其

右ノ如キ商賣ハ生糸ヲ

ラアリ

繭　五五、〇〇〇ピクル

計（生糸換算）　一八、〇〇〇俵見當

ナリシガ、八月上旬右ノ內三千俵ヲ賣却シ目下ノ手持ハ約一萬五千俵トナリ居レリ、右手持ノ處置ニ關スル資金凍結後ノ經過ヲ概觀スレバ凡ソ次ノ如シ

(一)八月上旬米國船ガ當地ニ寄港セルヲ好機トシテ會社ノ手許資金ノ關係モアリ旁々試驗的ニ興亞院等當局ノ諒解ノモトニ約三千俵ヲ一俵平均六千八百支弗ニテ當地外人商社ニ對米輸出用トシテ條件ヲ附テ賣却セリ

然ルニ右賣却ヲ認メ外人商社側ヨリ「三井物產、三菱商事等日本側商社ヘ資金凍結ヲ理由ニ先物取引ヲ全部キヤンセルセルネ拘ラズ、日本側ノ生糸ノ獨占保持機關タル華中蠶絲ガ現地現物賣ヲナセルハ商業道德上面

由来、獨占貿易機關タル華中蠶絲ガ[illegible]販賣ヲナセルハ商業道德上問[illegible]ヘ資金貸付ヲ理由ニ蠶繭取引ヲ全面[illegible]ス、日本側ノ[illegible]

然ルニ右買收ヲ聞[illegible]米人商社側ヨリ「三井物產、三菱商事等日本側商社[illegible]支那ニテ營業スル外人商社ニ對[illegible]米貨[illegible]トシテ[illegible]ヲ以テ[illegible]ナリ

[illegible]

（一）[illegible]

[illegible]

[illegible]八月上旬右ハ內三千萬ヲ[illegible]目下ノ手持ハ約一億五千萬トナ[illegible]

[illegible]（[illegible]）一八、〇〇〇萬[illegible]

[illegible]五、五、〇〇〇[illegible]

---

白カラズ、日本側ハ先ヅ前記先物取引ノ履行ヲナスベキナリ」トシ領事館方面ニ外交交渉ヲ重ネ來レリ、其ノ結果華中蠶絲ハ關係當局ノ意向ニヨリ不取敢生糸ノ販賣中止、手持繭ノ製糸中止ヲ餘儀ナクセラレ、目下同會社ハ事實上營業停止ノ狀態ヲ續ケ居レリ

（二）同會社トシテハ右對策トシテ前記賣却ノ方法ト同様、糸ノ輸出向ケ法幣賣ヲ續行スルト共ニ他方ニ於テ現在租界內ニアル物資（棉花、石油、金屬類）等ヲ糸ト交換的ニ買付ケ同社ノ資產確保ヲ圖ル一面、中支ニ於ケル我ガ物資獲得上國策ニ協力スベキ意向ノ下ニ相當具體的ニ計畫ヲ進メタリ

然ルニ英國領事等關係當局ニ於テハ租界物資トノ交換ニアヘ他キタラズ第三國ヨリ輸入セラル、物資ト交換スベシト云フコトニテ、同案モ止

三國ヨリ將來輸入セラルル物資ト交換スベシト爲スコトニシ、同案ヲ止

然ルニ興亞院側當局ニ於テハ組合事務ト物ノ交換ニテハ徒ラニ大商

リ[illegible]

實ヲ物資需要者上國家ニ協力スベキ意向ノ下ニ相當具體的ニ計畫ヲ進メタル

[illegible]

額（等ヲ系統交換的ニ買付ヲ同種ノ需要ヲ滿ム一面ハ中支ニ取ナル

ヲ履行スルト共ニ他方ニ於テ現在組合內ニアル物資（綿花、石油、金屬

[illegible]

（二）同

狀ハ事實上營業上ノ採算ヲ無視シ居レリ

ヨリ不取敢出絲ノ販賣中止ヲ持續シ果絲中止ヲ命ゼラレタリ、日下

論ガ現ニ絲ノ交換ヲ實施シ其ノ結果業中産絲ハ國策當局ノ意向ニ

由リテ、日本側ハ先ヅ當局ノ先物取引ノ履行ヲナスベキナリ一トシ商議

---

ムナク沙汰止ミトナレリ

（三）サレバ同社ニ於テモ目下關係當局ノ意向ニ從ヒ、將來輸入セラルベキ小麥トノバーター取引計畫ヲ進メ最近商談稍進捗シ居レルガ其ノ數量ハ微々タルモノニテ大ナル期待ヲ懸ケ難キ實情ナリ

（四）一方興亞院トシテハ手持繭ノ處分方法トシテ

（イ）一部繭ノ對日輸出

（ロ）現地消費用絹布ニ適スル樣製絲ヲナスコト

等ヲ同社ニ勸奬中ナルガ同社ニ於テハ何レモ輸出向賣却ニ比シ極メテ採算不利ナルタメ反對ノ意向ナリ、尚秋繭ノ買付ニ就テハ興亞院ニ於テハ中止セシメタキ模樣ナレドモ同社ノ營業繼續上並ニ蠶絲農家ノ關聯等モアリ結局其ノ實行ハ困難ナルベシト觀ラレ居レリ

アリ結局其ノ實行ハ至難ナルベシト觀ラレ居レリ

中止セシメルガ如キ錯誤ヲ犯サバ同社ノ營業關係上竝ニ商議會ノ關係等ヲ蒙ル不利ナル[illegible]ノ裏向ナリ、自然商人ノ買付ニ應セハ英國[illegible]等ヲ同社ニ事業中ナルガ同社ニ於テハ何レモ輸出向買付ニ應シ難ク[illegible]

（ハ）生糸業者費用節約ニ資スル結果ヲナスコト

（ニ）一般商人ノ營業日數短縮

（四）一方英國側トシテハ手持品ノ處分方法トシテ[illegible]タルモノニテ大ナル打撃ヲ蒙ルハ確實ナリ[illegible]最近商況等ヲ[illegible]其ノ被害ハ[illegible]

（五）サレバ同社ニ於テモ目下困難ナル營業ノ前途ニ鑑ミ、將來輸入[illegible]止ムナク休業狀態トナレリ

一

前述ノ如ク華中蠶絲ノ手持處分ノ問題ハ結局ノ處未ダ其ノ歸着スル處明ナラズ、尤モ生糸ノ處分ハ内地トノ關係重要ニシテ兩者ノ步調ヲ一ニスベキ關係上輕々ニ決定シ難キ實情ナルベキガ

イ、國際情勢如何ニヨリテハ當港ニ米國船ノ寄港杜絶シ折角ノ好機ヲ逸スベキ懸念アルコト

ロ、香港ルートニ出ヅル時ハ廣東外城等ノ非占領地帶ニ於ケル製糸地帶ニ漁夫ノ利ヲ占メシムル危險アルコト（九月十日ノ重慶電ニヨレバ同政府ハ此ノ機會ニ乘ジ養蠶ノ增産計畫ヲ樹テツツアリ）

等ノ點ヨリ觀テ何等カノ方法ニヨリ對米輸出等第三國向輸出ヲ繼續スルヲ可トスル情勢ナリト思ハル

可トスル情勢ナリト思ハル

[illegible]ノ點ヨリ見テ何等カノ方法ニヨリ對米輸出生糸三國向輸出ヲ獎勵スルヲ

ハ此ノ機會ニ乘ジ委員ノ[illegible]審議ヲ請ケツツアリ）

失ノ利ヲ占メシムル危險アルコト（九月十日ノ[illegible]ニヨレバ同[illegible]

ロ、香港ルートニ因テ[illegible]廣東外域等ノ非占領地帯ニ於ケル蠶糸品等ニ流入ノ懸念アルコト

ハ、國際情勢如何ニヨリテハ當局ニ米國側ノ[illegible]シ許可ノ手續ヲ要ス[illegible]觀點上俄カニ決定シ難キ實情ナルベキガ[illegible]尤モ生糸ノ區分ハ內地トノ關係[illegible]

前[illegible]ノ如ク[illegible]

尚當地市場ニ於テハ內地對米國ノ取引ニ比シ外人商社ハ極メ單ナル商取引ト云フ議ニ觸レテ取引一層圓滑ニ行ハルベキ特點アリ、場合ニ依リテハ內地生糸ノ處分モ可能ニシテ既ニ Finance & Commerce 紙（九月十日號）ハ內地生糸ノ當地向輸出ニ關スル統制記事ヲ掲ゲ右ノ如キ取引ハ對日資金凍結令ヲ一部無意味化スルモノナリト報ジ居レリ

若シ此ノ際興亞院意向ノ如キ政策ヲ以テ進マバ當地ノループホールトシテノ價値喪失ノ虞アリ大方針ノ決定ハ內地トノ關係其ノ他慎重考究ノタメ後日ニ讓ルノ已ムナシトスルモ、應急手段トシテ華中蠶絲ヲシテ買付ヲ續ケシメループホールノ存續ヲ圖リ置クベキモノト思考セラル

極秘

渉外175

## 當地本邦銀行ノ法幣資金ノ現狀

「當地所在本邦銀行ノ八月末現在手持法幣資金ハ約三億五千萬元（現金、預ケ金）ニシテ其中餘剰資金トシテ利用シ得ベキ額ヲ算出セバ左ノ如シ

| | 千元 |
|---|---|
| 正金 | 九八二〇〇 |
| 台湾 | 一四三〇〇 |
| 朝鮮 | 四〇〇〇 |
| 三井 | 四〇〇〇 |
| 三菱 | 四七〇〇 |
| 住友 | 五〇〇〇 |
| 上海 | 五〇〇〇 |
| 漢口 | 〇 |
| 計 | 一二五三〇〇 |

右算出ニ付テハ(イ)各行夫々ノ特殊事情アルコト(ロ)預金準備率各行ニ依リ

右算出ニ付テハ(イ)各行夫々ノ特殊事情ヲ[illegible]コト(ロ)預金準備率各行ニ據リ

| | |
|---|---|
| 計 | 一三一、四〇〇 |
| 漢口 | 〇 |
| 上海 | 三〇〇〇 |
| 住友 | 三〇〇〇 |
| 三菱 | 四七〇〇 |
| 三井 | 四〇〇〇 |
| 朝鮮 | 四〇〇〇 |
| 台灣 | 一四四〇〇 |
| 正金 | 九八三〇〇 千元 |

預ケ金）ニシテ其中綿関資金トシテ利用シ得ヘキ額ヲ算出セバ左ノ如シ

「一當地所在本邦銀行ノ八月末現在手持法幣資金ハ約三億五千萬元（預金・

當地本邦銀行ノ法幣資金ノ現状

區々タルコト(ハ)日本側銀行トシテハ發券銀行、其他コール市場ノ利用等不可能ナルコト等ヲ考慮シタルモノニシテ右金額ハ略利用シ得ラルベキ最高限度ナルベシト考ヘラル

「最近一、二ケ月間ニ於ケル當地本邦側ノ法幣資金移動状況ヲ觀ルニ(イ)商社並ニ紡績會社等ガ綿花其他租界ニ現存スル物資ヲ買漁リツヽアルコト(ロ)小麥、綿花等ノ出荷最盛季ヲ向ヘツヽアルコト等資金需要旺盛ナルニ對シ(ハ)英米ノ對日資金凍結令後、物資輸出入取扱機關ニヨリ日本側物資ノ買上メ就中生糸、綿糸布、桐油等第三國向物資ノ買上メヲ餘儀ナクセラレ資金増加ノ動因乏シキコト(ニ)正金ノミニ關スル特殊事情ナルガ月初來ピアスター、スイスフランヲ買ヒタルコト（兩者ニテ約千五百萬元相當額）等ノ事情ニヨリ本邦側銀行ノ法幣資金ハ減少ノ一途ヲ辿リ、正金ノ如キハ本月十五日迄ニ於テ約六千萬元ノ法幣拂超トナリ香上銀行ノ交

ノ如キハ本月十五日迄ニ於テ約六千萬元ノ法幣回收トナリ香上銀行ノ交[illegible]」等ノ事情ニヨリ本邦側銀行ノ法幣資金ハ減少ノ一途ヲ辿リ、正金來[illegible]ヲ買ヒタルコト（商賣ニテ約千五百萬元相[illegible]資金増加ノ動因ト為シタルコト(ホ)正金ノ[illegible]ニ關スル傳說流布[illegible]月初ノ賣止メ、戰中生糸、繭糸、桐油等第三國向輸出ノ減退[illegible]響シ(ハ)英米ノ對日資金凍結令發布、[illegible]出入取締規則ニヨリ日本側資(ロ)小麥、棉花等ノ出廻リ最盛季ニ向ヘツ、アルコト等資金需要旺盛ナルニ近ニ於ケル[illegible]會社等ガ綿花[illegible]界ニ現存スル物資ヲ買漁リツ、アルコト

一、最近一、二ケ月間ニ於ケル當地本邦側ノ法幣資金需動狀況ヲ見ルニ[illegible]最高限度ナルヘシト考ヘラル

不可避ナルコト等ヲ綜合シタルモノニシテ右金額ハ[illegible]利用シ得ラルルキ[illegible]タルコト(ニ)日本側銀行トシテハ[illegible]行、其他コール市場ノ利用等

---

狀況ニ就テ見ルモ本邦側銀行ハ全体トシテ日々貸ケ一方ニシテ月初ヨリ中旬迄ニ約一億六千萬元ノ支拂超過ヲ示シツ、アル現狀ニテ現在ニ於テハ法幣保有資金ハ一億ヲ遙カニ下リ八月末ニ比シ著減シ居レル模様ナリ。

一、然ルニ今後法幣資金ニ對スル需要ハ(イ)出荷最盛季ヲ向ヘツ、アル棉花、小麥、米等ノ買付資金等ニテ目先最低二億元ヲ豫想セラレツ、アルコト(ロ)英米ノ對日資金凍結以來愈々其ノ重要性ヲ増シ來レル中支物資ノ獲得工作上各方面ヨリ法幣資金ノ要請アルコト等ヨリ益々旺盛ナルベキ情勢ニテ法幣資金ノ有効ナル利用及ビ其ノ増加ヲ圖ルベキ方途ノ講究ハ目下緊要ノ問題トナリ居レリ。

一、就テハ之ガ對策トシテ一應考ヘ得ラルベキ事項ヲ列記セバ

(甲)手許法幣資金ノ有効ナル利用

(イ)資金プール制　新ニプール制ヲ組織スルハ手續煩瑣ナルノミナラズ諸資金ガ一定期間一ヶ所ニ固定スル傾キアリテ各行ノ自衛上却テ資金ガ集リ難キ嫌アリ目下ノ處此ノ方策ハ各方面共氣乘リ薄ノ如シ

(ロ)商品別融資シンヂケート團ノ組織　此ノ方法ハ既ニ棉花、小麥等ノ大量商品ノ買付融資ニ付事實上實施セラレ居リ例ヘバ中支棉花協會等ノ買付團ニ對シ、各行ハ自己ノ能力ニ應ジ形式上ハ個々別々ニ當座貸越契約ヲ結ビツヽアルモ、務メ各行全體トシテ買付團ノ需要ヲ充足スベキ樣各行間ノ割振等ヲ協議セル如キハ未ダシンヂケートトハ稱シ難キモ自ラ融資シ團結成ノ方向ニ發展助長スベキモノト見ラル

(ハ)正金ヲシテ本邦側各行ニ當座貸越契約ヲ締結セシメ必要ニ應ジ各行ノ借越ヲ利用セシムルコト　之ハ冀東平衡資金借出ニ就テハ既ニ實行セラレツヽアリ、同一方法ニ依リ法幣資金ニ適用セバ圓滑且敏速ニ其ノ目的ヲ達セラルベキモノトシテ最モ實現性アルベシ

(ニ)各行ヲシテ中央儲備銀行ニ對シ當座貸越契約ヲ結バシメ非常準備措置ヲ講ゼシメ置クコト　前記(イ)、(ロ)、(ハ)等ノ方法ニヨリ資金ヲ有効ニ活用シ得ラルヽト假定スルモ、目下ノ如キ變轉極リナキ情勢ニ於テハ、各行ハ自衛上預金支拂準備等ノ準備金ヲ豐富ニセザルヲ得ズ、殊ニ本邦側ノ利用シ得ベキ短資市場ナキ缺點ヲ補フタメ交換尻決濟用資金ニ就テハ附帶當座ノ迷惑モアリ日本側各行間ノミニテ彼我融通ヲ行ヒ居レルガ、右ハ自ラ姑息的ナルヲ免レズ、各行ヲシテ

業務ヲ行ヒ居レルガ、右ハ自ラ消極的ナルヲ免レズ、各行ヲシテ余裕資金ニ就テハ[illegible]日本側各行間ノミニテ放ス、[illegible]ノ利用シ得ベキ短資市場ナキ缺陷ヲ補ハシメ交換尻[illegible]ハ、各行ハ自衛上[illegible]ノ準備金ヲ豊富ニ[illegible]務ニ運用シ得ルモノト規定スルモ、目下ノ如キ[illegible]ナキ情勢ニ置ヲ講ゼシメ置クコト

前記(イ)、(ロ)、(ハ)等ノ方法ニヨリ資金ヲ有

(ニ)各行ヲシテ中央儲備銀行ニ對シ融通契約ヲ結バシメ非常準備[illegible]ニ其ノ目的ヲ達セシムベキモノトシテ最モ實現性アルベシ實行セシメツツアリ、同一方法ニ從ヒ流動資金ニ融通[illegible]且效ノ爲替ヲ利用セシムルコト

之ハ軍票平價資金運用ニ就テハ既ニ

(ホ)正金ヲシテ本邦側各行ニ當座貸越契約ヲ締結セシメ必要ニ應ジ各行

---

儲備銀行ニ當座貸越契約ヲ結バシメ、同行ヲシテ本邦側銀行ノ法幣資金ニ關スル最後銀行ノ如キ機能ヲ發揮セシメバ、各行ハ各種準備金ヲ最少限度ニ止メ得ラルベシ。

(乙)法幣資金ノ積極的増加策

(イ)法幣預金ノ積極的吸收　預金利子ノ引上ゲ其他積極的勸誘ニヨル預金吸收ノ能否ニ就テハ各行ノ意見概ネ一致シ居レルガ、(ロ)支那側銀行ノ預金利息高キコト並ニ本邦側資金統制ヲ逃ルヽタメ本邦側資金ノ支那側ニ流入シ居レルモノハ本邦側銀行ノ預金利子ノ高率引上ゲニヨリ或程度逆流セシメ得ラルベシ

法幣預金預金利子率

| | 本邦銀行 | 華興銀行 | 儲備銀行 | 支那側銀行 |
|---|---|---|---|---|
| 當座預金 | ナシ | 一% | 二% | 二%—三% |
| 特別當座 | 一% | 一・二% | 二% | 二%—三% |

| | 諸預金利子率 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 本邦銀行 | 華興銀行 | 儲備銀行 | 支那側銀行 |
| 特別當座 | 一% | 一・五% | 二% | 二%—三% |
| 當座預金 | ナシ | 一% | 二% | 二%—三% |

ニヨリ取極事項遵守セシメ得シムヘシハ支那側ニ進入シ居レルモノハ本邦側銀行ハ預金利子ハ高率引上ヲ行ハ預金利息高キコト並ニ本邦側資金統制ヲ怠ル、タメ本邦側資金預金吸收ノ能否ニ鑑テハ各行ノ意見相半ハシ居レルカ、(3)支那側銀

(4)法幣預金ノ積極的吸收　預金利子ノ引上ヲ其他積極的措置ニヨル

(乙)法幣資金ノ積極的増加策

金ヲ最少限度ニ止メ置クヘシ。

貸金ニ關スル聯絡銀行ノ如キ機能ヲ發揮セシメス、各行ハ各當準備儲備銀行ニ當座貸越契約ヲ結ハシメ、同行ヲシテ本邦側銀行ノ法幣

|  |  |  |  |  |
|---|---|---|---|---|
| 通知預金 | 一% | 一%—二% | 三%—四% | 三%—四% |
| 定期預金 | 二% | 二%—四% | 六%—七% | 六%—七% |
| 當座預金 | — | — | — | 四%—六% |

○本邦銀行ハ本聯合協定最高率ナリ

(ロ)本邦側銀行トシテハ現狀ノ下ニテハ民族資本ノ吸收一般ニ困難視セラレ居レルガ、華興商業銀行其他合辦系ノ中匯銀行等合辦銀行ヲ通シ幾分ノ吸收ハ可能ナルベシ

(ハ)物資搬出入關係取締ノ適正化　本邦側ハ物資搬出入關係取締等ニヨリ、各種物資買付ニ付各種制限アル反面租界物資等ヲ買漁リツヽアルヲ以テ目下ノ處ニテハ法幣資金ノ積極的増加ハ極メテ困難ニシテ若シ此ノ狀態ヲ繼續スルモノトセバ、資金並ニ物資交流ノ中絶ニ

ヲ指シ此ノ状態ヲ繼續スルニ於テハ資金流ニ物資交流ノ中國ニ

アルヲ以テ目下ノ處ニテハ法幣資金ノ累積的増加ハ避ケ[illegible]困難ニシ

ヨリ、各種物資買出ニ付各種制限ヲ爲ス反面其ノ物資資金ヲ買溜セシ、

(ロ)物資搬出入關係取締ノ適正化　本邦側ハ物資搬出入關係取締ニ

留シ操作ノ範圍ハ可能ナルベシ

ナラズ居レルガ、在支英米銀行[illegible]ノ中國銀行等合辨銀行ヲ

(ハ)本邦銀行トシテハ現狀ノ下ニテハ民衆資本ノ吸收一般ニ困難ナ

○本邦銀行ハ本國會社定資高率ナラ

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 當座預金 | ― | ― | ― | 四%―六% |
| 定期預金 | 三% | 三%―四% | 六%―七% | 六%―七% |
| 通知預金 | 一% | 一%―三% | 三%―四% | 三%―四% |

ヨリ我方ノ上海市場利用ハ次第ニ至ミ難トナルニ至ルベシ、例ヘバ生絲ノ如ク華中蠶絲ノミニテモ目下第三國向生糸ヲ七千俵手持シ居リ此度米國プレジデントライン船ノ二隻當地ヘ寄港スルヲ好機ニ賣却スルモノト假定セバ約四、五千萬元ノ代金回收可能ニシテ、物資搬出入關係取締狀況ノ適正化ハ有力ナル法幣資金増加ノ根源タルベシ

(ニ)內地新産金ノ當地ニ於ケル賣却　現物金塊ノ公開市場ナキタメ當地ニ於ケル賣却可能量ノ測定ハ甚ダ困難ナルモ金ノ當地賣却ハ法幣資金獲得ノ一有力手段タルコト疑無シ、之ニ關聯シ(イ)儲備銀行ハ目下當ニ金ヲ買集メ居レルガ當地ニ於ケル右買入ヲ中止セシメ、我ガ新産金ヲイヤマーク等ノ形式ヲ以テ之ニ充テシムルコト(ロ)當地正金

支店ハ約千弗（一弗約九千元見當）ノ金ヲ手持シ居レルガ是ヲ當地ニ設ケル金賣買ノテストケースタラシムルコト等モ考慮ノ要アルベシ。

# 當地本邦側銀行ノ綜合的資金利用計畫要旨

## 第一、方針

一、中支ニ於ケル對日物資獲得ヲ遺憾ナカラシムル爲メ當地本邦銀行ノ手持法幣資金ヲ綜合シ之カ有効適切ナル利用ヲ圖ルコト

二、右目的達成上各行ニ於ケル法幣手持資金ノ増加ヲ必要トスル場合ニハ積極的ニ法幣資金ノ吸收ヲ行ハシムルコト

## 第二、實施要領

### 一、資金調査

一、各行ヲシテ毎月末ニ於ケル法幣勘定貸借對照表並ニ次月中ニ於ケル法幣資金金繰豫想ヲ提出シメ、毎月初ニ於テ餘剰ト見做サル、法幣資金額ヲ算出セシムルコト

(イ)貸借對照表ニハ左記註ヲ附スルコト

A、貸付金勘定　・・・・弗以上ノ各種貸付金ニ付返済期日別表~~並~~ヲ添付シ
固定貸アルトキハ右金額ヲ表示スルコト

B、預ケ金勘定　預ケ先別、預金種類別表ヲ添付スルコト、預ケ先ト
ノ間ニ特約アルトキハ右特約ヲ示スコト

C、預金勘定　各種預金ニ付預金者トノ間ニ特約又ハ申合セアルト
キハ右預金金額並ニ特約又ハ申合セヲ示スコト、尙預金準備ニツキ
大体ノ目安ヲ置ク銀行ニ於テハ右目安ヲ示スコト

D、外國爲替勘定　本支店間勘定、支拂承諾、雜勘定等ニ於テハ大体
今後法幣現金ノ受拂ナキモノト認メラルヽモ若之アルトキハ右受拂
ノ時期、金額ノ概略ヲ示スコト

(ロ)金繰豫想ニ付テハ一定ノ形式ヲ求メザルモ月中ニ於ケル大体ノ法幣現金出入ノ狀態ヲ表示スベキコト

二、目下各行ハ法幣預金吸收ニハ消極的ナルモノ、如キモ、積極的ニ預金ヲ勸誘セバ目先幾何ノ預金吸收可能ナルカニ付大体ノ見込額ヲ提出セシム

二、融資方法

一、棉花・・[illegible]・等大量的金融ヲ要スルモノニ就テハ各行ヲシテ其必要ニ應ジ原則トシテ各種物資別融資シンヂケート團ヲ組織セシメ、各種物資買付團ニ對シ資金融通ヲナサシム、右以外ノ物資ニシテ小額ナルモノニ付テハ財務官室ハ特別貸付許可證ヲ交付シ各行ヲシテ優先的ニ取扱ハシムルコト

一、融資シンヂケート團ハ各行ノ協議ニヨリ幹事銀行一行ヲ定メ買付團ニ對スル融資ニ關スル必要ナル一切ノ事務ヲ行ハシムルコト

ル融資ニ關スル必要ナル一切ノ事務ヲ行ハシムルコト

一、融資シンヂケート團ハ各行ノ協議ニヨリ幹事銀行一行ヲ定メ買付團ニ對ス

官室ハ特別貸付許可證ヲ交付シ各行ヲシテ優先的ニ取扱ハシムルコト

對シ資金融通ヲナサシム、右以外ノ融資ニシテ小額ナルモノニ付テハ財務

則トシテ各種物資別融資シンヂケート團ヲ組織セシメ、各種物資買付團ニ

一、棉花、羊毛等大量的金融ヲ要スルモノニ就テハ各行ヲシテ其必要ニ應シ原

## 二、融資方法

議セル目先幾何ノ資金吸收可能ナルカニ付大体ノ見込額ヲ提出セシム

二、目下各行ハ法幣預金吸收ニハ消極的ナルモノノ如キモ、積極的ニ預金ヲ勵

出入ノ狀態ヲ表示スヘキコト

四、金融狀態ニ付テハ一定ノ形式ヲ求メサルモ月中ニ於ケル大体ノ法幣現金

一、融資條件、融資シンヂケート團ノ損益處分等ニ就テハ融資シンヂケート團ヲ組織ノ都度之ヲ定ムルコト

一、財務官ハ融資シンヂケート團ノ組織或ハ運行ニ付指導監督ス

一、資金利用計畫ノ進捗ニヨリ各行手持資金手薄トナルトキハ手形交換尻決濟用資金等ニ關シ適當ナル措置ヲ講ズルコト

極秘

海第十三號

昭和十六年八月廿八日

上海駐在參事

外國爲替局長殿

海電第四十八號通知ノ物價逆算式爲替相場ニヨル中支物資ノ對日輸出促進ニ關スル試案並ニ實施具体策別紙御送付申上候間御査收被下度尚對日物資獲得ヲ遺憾ナカラシムルタメ當地本邦銀行ノ手持法幣資金ヲ綜合シ之カ有效ナル利用ヲ圖ルベキ準備トシテ當室起案ニ基キ財務官室ヨリ通牒ヲ發シ各行ニ於ケル手持法幣資金狀態ヲ調査スルコト、相成候間此段併而御報告申上候也

追而右調査完了ノ上ハ資金プール又ハシンヂケート結成等實施方法ニ付種々考慮ヲ要スルモノ有之候ニ付テハ御高見モ有之候ハヾ御回示被下度添而御依賴申上候

## ○爲替技術ニヨル本邦向中支輸出促進策

一、對日輸出ヲ目的トスル中支物資買付ガ思フ様ニ行カナイノハ買付ニ當ツテ適當ナル値段ヲ支拂フコトガ出來ナイカラデアルガ、夫ハ日本ノ低物價政策ト日本圓對軍票等價ノ爲替相場ト云フ二ツノ大キナ障害ニヨル

二、然ルニ今日一部ノ取引ニ關シ外貨ベーシスノ圓對法幣ノ爲替ガ認メラレ、其ノ決濟尻タル正金銀行ノ法幣ノ持ハ政府ノ補償勘定トナリ、而シテ此ノ圓對法幣ノ取引ハ大藏省ノ特許ヲ得タモノニ限ルト云フ機構ガ出來タニ付テハ聊カ之ヲ擴張シテ適用爲替相場ニ關シ一ツノ革新的創意ヲ採用スルコトガ許サレルナラバ前記二ツノ障害ヲ克服シテ中支物資買付ニ新生面ヲ開クコトガ出來ル。

之ヲ「個々ノ取引ニ對スル物價逆算式爲替相場ノ適用」ト名付ケ得ルガ例

ヲ以テ示セバ

○中支棉ハ今日一擔法幣二五〇元デ買ヘルト假定シ日本マデノ費用二〇元トシ神戸ノ賣却値段ハ日本低物價ニ準據シテ五〇圓トスレバ、當地買付商ノ手數料ヲ 5% トシテ

$$\frac{\text{¥}\ 50.00}{\text{L\$}\ 250.00+\text{L\$}\ 20.00+\text{L\$}\ 13.50}=\frac{\text{¥}\ 50.00}{\text{L\$}\ 283.50}=\frac{\text{¥}\ 17.63}{\text{L\$}\ 100}$$

卽チ此ノ取引ニ對シテハ ¥ 17.63 ノ爲替相場ヲ與ヘテ輸出爲替ヲ取組マシメルノデアル

（右ノ採算ガ ¥ 17.63 トナツテ外貨ベーシスノ法幣對圓ノ相場約 ¥ 20.00 ヲ遙カニ下廻ツテヰルコトガ外貨ベーシス法幣對圓ノ爲替ニヨルトモ尚中支棉ノ買付ガ出來ヌ理由デアル）

〇菜種ヲ例ニトレバ

上海値ハ110神戸六五弗

內地値段ハ二三圓、依ツテ手數料ヲ5％トシテ

$$\frac{¥\,23}{L\$\,65+L\$\,3.25}=\frac{¥\,23}{L\$\,68.25}=\frac{¥33.69}{L\$\,100}$$

卽チ此ノ場合ニハ¥33.69ノ相場デ立派ニ商賣ニナルカラ棉花ノ場合ノヤウナ特別ニ有利ナ相場ヲ與ヘル必要ハナイガ然シコノ場合ト雖今ノ軍票對法幣相場¥41.-デハ輸出ハ出來ナイノデアル

三右ノ物價逆算ノ爲替相場ヲ與ヘレバ當地輸出ガ引合フコト卽チ夫ニヨッテ對日輸出ノタメノ物資買付ガ可能トナルコトハ說明ヲ俟タズ明瞭デアルガ、說明ヲ要スルノハ右ノ方法ニ依ルニ非ズンバ今日中支物資ノ對日輸出ヲ圓滑ニ、大量ニ行フコトハ殆ンド不可能ダト思ハレル點デアル、其ノ理由ヲ

逐次說明スレバ

(イ)此ノ新方策ハ原理ニ於テ留保金ノ活用ト云フコトニ外ナラナイガ、留保金制度ハ其ノ今日迄ノ實績ガ證明シテヰルヤウニ機構ト手續ガ窮屈デアツテ到底速急ノ用ニ立タナイノデアル

(ロ)特定ノ取引ニ對シテ外貨ベーシス圓對法幣取引ガ認メラレタコトハ大キナ前進デアル（尤モ從來トテモ軍需品等ニ對シテハ外貨建取引ガ認メラレテヰタカラ其ノ變形ト考ヘレバ同ジコトデアル）然シ前記棉花ノ例ガ證明シテヰルヤウニ品物ニヨツテハ（特ニ棉花ノ如キ刻下ノ最重要ノ商品ガ）外貨ベーシス圓對法幣ノ爲替ニヨツテモ引合ハナイノデアル。而モ今後法幣ノ對外價値ト對內價値トガ乖離スベキ傾向ハ頗ル多ク對外相場[illegible]ハ所謂コントロールノ支持ニヨツテ一程度ニ保タレ乍ラ國內物價ハ大騰貴ヲナスト云フ可能性ハ實ニ多イノデアル。其ノ場合ニハ折角ノ外貨

ベーシス圓對法幣取引モ役立タナクナル

(一)商品ノ國際移動ガ阻マレテキル今日支那ノ國內物價ノ騰貴率ハ商品ニヨリ高低マチマチデアルコトハ當然デアツテ一般ノ物價水準ト云フ觀念ガ頗ル稀薄ニナツテキルコトハ前記棉花菜種ノ二例ガ既ニ之ヲ物語ツテキル、從ツテ圓軍票等價ノ爲替デ取引ガ出來ナイカラト云ツテ一率ニ外貨ベーシス圓對法幣ノ爲替ヲ適用シヨウト云フノハ既ニ實狀ニ疎ク、酷評スレバ五十步百步ノ施策デアツテ到底夫ノミニヨツテハ圓滑ナル輸出ハ期待出來ナイノデアル

(二)爲替相場ニヨラズシテ同一目的ヲ達シヨウトスレバ國家的買付機關ヲ新設スルコトデアルガ、ソンナコトヲシテキテハ機構ノ決定ダケニモ三ケ月ヤ四ケ月ノ日子ヲ要スルデアロウシ現地商人同志ノツナガリヲ壞シテシマウ危險ガ頗ル多イ。然ルニ上記ノ方法ニヨレバ大藏省及現地ノ數人

ノ働キニヨツテ現在ノ取引態様ヲ完全ニ其儘ニ維持シツツ當地ノ商人ヲシテ安心シテ買付ニ專念セシメルコトガ出來ルノデアル

### 四　次ニ運用上ノ實際問題ニ付考察ヲ進メル

(イ)先ヅ實行ノ始メニ於テハ政府補償勘定ノ買持法幣ヲ消化スル範圍之ヲ實行シテ見ルガヨイ、現ニ進行中ノ此ノ勘定ニヨル物資買付計畫ハ今停頓ノ姿デアルガ一ツ出直シテ本邦ハ先ヅ希望物資ヲ指定シ其ノ買付ニ對シテハ頭記ノ逆算式爲替ヲ與ヘルト宣言スレバ買付ハ必ズ出來ル、而シテ若シ棉花ノミヲ購入スレバ政府補償勘定ハ損失ヲ招クコト明瞭デアルガ他ノ物品例ヘバ菜種ノ如キモノヲ適當ニ混ゼレバ或ハ利得ヲ得ルカモ知レナイ

買付ノ商人ニ對シ爲替ヲキメル實際ノヤリ方ハ先ヅベストヲ盡シテ買付シメ、更ニ之ヲベストヲ盡シテ內地ヘ賣却セシメ、其ノ成績ヲ見タ

上デ適當ノ手數料ヲ裁定シ之ヲ織込ンデ爲替ヲ極メルノガ最合理的デアル、或ハ日支兩國ノ物價差ヲ睨ンデ豫メ一定ノ爲替相場ヲ與ヘ請負式ニヤラセルコトモ可能デアル、何レニシテモ此ノ爲替相場ノ決定ハ左迄難カシイ仕事デハナク現在ノ現地財務官ニ於テ充分ニヤツテ行ケルト考ヘラレル

(ロ)中支物資買付ノ必要ハ決シテ現在ノ政府補償勘定法幣ノ消化ヲ以テ能事終レリトスベキデハナイ、依ツテ其後ニ於テハ政府補償勘定ノ法幣資金ノ補充ト圓資金ノ處分ヲ考ヘネバナラヌガ其ノ方法トシテハ第一ニ内地新產金ノ當地賣却、第二ニ新ニ政府補償勘定ノ法幣建輸出ヲ認メルコト第三ニ内地ノ輸出機構ハ現在ノママトシ圓建輸出代リ金ノ一部ヲ上海ニ於テ法幣ニ替ヘ（相手ハ平衡資金デモ何デモヨシ）出合爲替ニ依ツテ政

府補償勘定ニ振替へ同時ニ内地ニ於ケル留保金ヲ政府補償勘定ニ捲キ上ゲルコトデアル（後註參照）

右第一及第三ヲ併用スルコトガ最モ宜シイト思ハレルガ第三ハセクショナリズム的面倒多シトスレバ第一ダケデモ既ニ相當ノ効果アリト思フ

(ハ)結局ニ於テハ中支對本邦輸出入ハ大部分此ノ新機構ニ包攝スベキモノデアルガ軍票問題ニ觸レルコトデハアルシ殊ニ軍票工作ニ關スル諸種ノ機構ハ決シテ今直チニ壞ハスベキモノデハナイカラ暫クノ間ハ特殊品ニ關スル特殊取扱トシテ之ヲ當地ノ輸出ノミニ限リ實行スルガヨイ、是ニヨリ幸ニ大キナ内地向輸出ガ出來ルトシテモ夫ハ今迄爲シ得ザリシ分野ヲ開拓シタニ止マリ當地ニ於ケル取引關係ヲ攪亂スルモノデハアリ得ナイ

(ニ)此ノ制度ノ一ツノ缺點ハ之ヲ行ヒ得ルモノガ正金銀行ニ限ラレテヰル點デ

アルガ之ハ今ノトコロドウ考ヘテモ他行ニ均霑サセル餘地ハナイヨウデアル、依ッテ此ノ制度ガ相當ノスケールニ發展シタ上ニ於テハ別ニ他行ヲシテ上海ニ於テ法幣資金ヲ吸收セシメ之ヲ買付資金トシテ比較的高利ニ貸付ケシメテ此ノ業務ニ部分的ニ參與セシメルト云フ途ヲ開クコトヲ考慮スルガヨイト思フ

（了）

（註）

本邦ノ中支向劃建輸出ガ軍票回收ノ範圍ニ止マッテヰルトスレバ理論上此ノ操作ハ平衡資金ノ軍票賣ノ範圍ヲ出デ得ナイガ、今後若シ此ノ新案ニヨッテ今迄買付得ナカッタ中支物資ガ日本向輸出サレルトスレバ其ノ範圍本邦ハ中支向輸出ヲ増額スルコト固ヨリ差支ナイ筈デアル否夫コソ新事態下ノ國策ヲ狙ヒデアラネバナラヌ。

否ナリソハ寄事態下ノ國策ヲ阻ムモノナラズヤ。

ハ其ノ範圍本邦ハ中支向輸出ヲ増額スルコト同時ニ日支ナト含テナル

新案ニヨリテ今迄買付得ナカリシ中支物資ヲ日本向輸出サセ得ルモノナリ

上記ノ操作ハ平衡資金ノ軍票賣ノ範圍ヲ出テ得ナイガ今後害シ此ノ

本邦ノ中支向輸出ヲ促進シテ軍票回收ノ範圍ニ止マリテキルトスレバ理論

（註）

考慮スルヲヨシト思フ

ニ貸付ケシメテ此ノ業務ニ部分的ニ參與セシメルト云フ途ヲ開クコトヲ

ヲシテ土着ニ於テ法幣資金ヲ吸收セシメ之ヲ買付資金トシテ比較的高利

ヲル役ツテ此ノ制度ガ相當ノ效ヲ擧ルニ發展シタ上ニ於テハ逆ニ推行

ヲル官ヘ今ノトコロ文書ヘテモ推行ニ困難サセル餘地ハナイヨウデ

---

## 「爲替技術ニヨル本邦向中支輸出促進策」ノ實施具体策ニ關スル財務官ト正金支店トノ協議要領

イ　不取敢左記軍配組合ノ買付計畫ニ對シテ摘用試ミタシ

| | 供給可能量 | 内地希望價格 | 當地供給價格 | 逆算相場 |
|---|---|---|---|---|
| 蠶豆 | 3,000瓲 | ¥ 420,000 | L$ 2,520,000 | ¥16.66 |
| 菜種 | 23,000瓲 | ¥ 6,325,000 | L$26,357,000 | ¥23.99 |
| 棉實 | 30,000瓲 | ¥ 4,500,000 | L$12,571,000 | ¥35.79 |
| 胡麻 | 30,000瓲 | ¥11,000,000 | L$44,166,000 | ¥24.90 |
| 合計 | | ¥22,245,000 | L$85,614,000 | ¥25.98 |

右ノ計畫ハ十二月マデノ買付見込ナル由ナルガ假ニ全額直チニ實行スルトセバ法幣八千五百萬弗ヲ要シ現在ノ補償勘定法幣資金ハ右買付計畫ノミニテモ直チニ不足ヲ來スコトトナルベシ

ニ依ツテ右實行ニ入ルニ先立チ先ヅ本邦ニ於テ左記事項決定セラレ度

(A)不取敢補償勘定ハ賣持ヲ持ツコトヲ承認シ其ノ限度指定相成度（差當リ五／七千萬弗見當至當カト思ハル）

(B)補償勘定ハ本邦必需物資買付ノ爲ナラバ損失ヲ厭ハザル覺悟ナリヤ否ヤ換言スレバ今後當地輸出ニ當リ供與スベキ相場ハ平均大凡何圓ナルコトヲ欲セラルルヤ御指示相成度、當方ニ於テハ商品ノ種類及數量ノ組合セニヨリ一ケ月間ノ買付ナリ一計畫ノ買付ナリガ大凡貴方希望爲替相場トナルヤウ買付方指導スルコト可能ナリト考ヘ居レリ

三、頭記軍配ノ買付計畫ナルモノハ多分ニ含ミヲ持ツモノト想像セラルルニ付實際ハ右ヨリモ有利買付可能ナリト思ハル、但シ當地物價ノ情勢端倪スベカラザルヲ以テ將來ノコトハ何トモ申シ難シ

ヌベカラザルヲ以テ將來ノコトハ何トモ申シ難シ

行實際ハ右Ｑ.Ｑ.ヲモ有利買付可能ナリト思ハル、但シ當地物價ノ情勢[illegible]況

三 頭記軍配ノ買付計畫ナルモノハ多分ニ含ミヲ持ツモノト想像セラルルニ替相場トナルベク買付方指導スルコトモ可能ナリト考ヘ居リ

組合セニヨリ一ケ月間ノ買付ナリ一計畫ノ買付ナリガ大凡貴方希望品コトヲ欲セラルルヤ御指示相成度、當方ニ於テハ商品ノ種類及數量ノナ換言スレバ今後當地輸出ニ當リ供與スベキ相當ハ平均大凡何圓ナル

(ロ) 補償勘定ハ本邦必需物資買付ノ爲ナラバ損失ヲ厭ハザル覺悟ナリヤ否ヤ五／七億弗見當至當カト思ハル）

千

(ハ) 不取敢補償勘定ハ實持ヲ持ツコトヲ承認シ其ノ限度指定相成度（當

二 依ッテ右實行ニ入ルニ先立チ先ヅ本邦ニ於テ左記事項決定セラレ度

實行方法トシテハ業者ニ豫メ爲替相場ヲ與フルコトナク實際ニ買付ケシメ更ニ内地ニ賣却セシメタル後ニ於テ其ノ實際ノ數字ヲ吟味ノ上爲替ヲキメテヤルコト前回メモニ認メタル通ナリ、而シテ之ハ當分ノ間特殊業者ニヨル特殊指定品ノ買付ニノミ適用スルコト止ムヲ得ザル次第ト考ヘ居レリ

四 上記軍配ノ買付計畫ヲ先ヅ實施スルコト決定シタリトスルモ之ト併行シテ現ニ進行中ノ三井物產買付ニモ摘用スルコト妨ナカルベシ此ノ點目下研究中ナルモ前記(ロ)ニ對スル貴答先決問題ナルガ如シ

極秘

機第一五號

昭和十六年九月二十日

上海駐在參本

外國貿易局長殿

浙江省寧波ノ攻略ハ援蔣ルート遮斷ヲ主目的ノ外浙江財閥ノ根據地ヲ我カ方手中ニ收メ同地ヲ通シ重要物資ノ獲得、浙江財閥ノ誘導、爲シ得レハ重慶トノ直接和平等ノ媒介トシテ利用セントスル意圖モアリタルヤニ窺ハレ實際上ノ施策トシテハ軍票ヲ使用セス日本側營利商人ヲ排除シ治安工作其他ニ支那人ノ自治性ヲ高度ニ利用セル等從來ノ方策ト著シク趣ヲ異ニシ占據地工作ノ一テストケイストシテ其成果各方面ヨリ注視セラレ居候ニ付

先般書記清水善俊ヲシテ出張調査セシメ候處實情別紙ノ通リニ有之候間御參考迄ニ御内報申上候也

追而本調査中ニハ現地軍作戰上ノ機密ニ屬スル事項含マレ居候間御取扱方特ニ御留意相煩度爲念申添候

昭和十六年八月

# 浙江省事変工作ノ現況（出張報告）

上海駐在参事室

# 清鄕會事後工作ノ實況（出張報告）

上海駐在參事官

昭和十六年八月

---

一、事後工作ノ意義
二、事後工作ノ實情
（イ）政治的工作
（ロ）經濟的工作
三、事後工作ノ效果

一、事後工作ノ實施

本年四月實施ノ事後工作ニ關スル作戰ハ、同地作戰部隊タル松井兵矢團旅團長楠本少將（元上海特務機關長、興亞院華中連絡部次長）ノ發意ニ基キ作戰後ノ治安經濟工作ニ付從來ノ如ク日本人ヲ主トシ軍票ヲ以テスル方策ヲ用ヒズ、徹底セル支那人ノ自治ニ委ネ法幣ヲ以テ主要通貨トナシ、同地ヲ通ジテ重要土産物資ヲ我ガ方ニ獲得シ、爲シ得レバ浙江財閥ヲ我ガ方ニ誘導シ更ニ是ヲ以テ重慶トノ直接和平ノ端緒タラシメントスル等其ノ企圖スルトコロハ可成謀略的見地ニ基クモノナガラ從來軍ノ實施セル占據地工作トハ著シク異リ一ツノ試驗臺トシテ各方面ヨリ注目セラレ居ル次第ニシテ現在迄ノトコロ治安上ハ勿論經濟的方面ニ於テモ其ノ復興狀況好成績ニテ、一應消極的部面ニ於テハ成功ヲ收メタルモノト謂ヒ得

状況好轉後ニ於テ、一層積極的方面ニ於テハ成功ヲ收メタルモノト言ヒ得
ル次第ニシテ規模宏大ナルトコロ治安上ハ勿論經濟的方面ニ於テモ其ノ成果
占領地工作トハ蓋シク異ナリ一ツノ試驗臺トシテ各方面ヨリ注目セラレ居
ノ進展スルトコロハ可成經濟的見地ニ基キタルモノナガラ從來ノ實施セル
方ニ勝チ更ニ是ヲ以テ連絡トノ直接和平ノ端緒タラシメントスル意其
地ヲ治シテ重慶土寇ノ害ヲ除キ方ニ優勢ヲ得シ、蒋ノ得レハ浙江圏域ヲ驅ガ
ヲ用ヒズ、徹底セル支那人ノ自治ニ委ネ治安ヲ以テ主要備資トナシ、同
戰後ノ治安維持工作ニ着手從來ノ如ク日本人ヲ主トシ軍部ヲ以テスル方策
楠本少將（元上海特務機關長、興亞院華中連絡部次長）ノ新案ニ基キ作
本年四月實施ノ寧波ニ關スル作戰ハ、同地作戰部隊タル松井兵團[illegible]

一、寧波工作ノ實績

---

ベク、唯今後ノ積極的發展性如何カ興味視セラレ居レリ。

二、寧波工作ノ實情

(イ)政治的工作　寧波ハ事變以來重要ナル援蒋物資輸入ルートトナリシタメ今次作戰ノ主目的ハ之ヲ遮斷スルニアリタル處既ニ海軍ニ於テ沿岸封鎖ヲ實施シ居リタル關係モアリテ充分其ノ效果ヲ收メ得タリ、而シテ其ノ作戰進行ニ當リテハ首領附近ノ經濟的謀略的效果ヲモ擧ゲンガタメ努メテ無血占領ヲ心掛ケタル一方支那兵ニ於テモ浙江財閥ニ遠慮シタルト同地財界人ガ支那將兵ニ金ヲ握ラセタル形跡モアリテ、他ノ都市ニ見ル如キ燒却、破壞等全然ナク、寧波其ノモノハ完全ナル姿ニ於テ我ガ方ニ引繼ガレ、戰禍ノ跡モ全然認メラレズ、電燈、水道、電話等モ損傷ナク復舊ヲ見タリ。又其ノ後ノ政治狀態モ我ガ方ノ政治經濟工作

モ程ナク實蹟ヲ見タリ。又其ノ後ノ政治狀態モ我ガ方ノ政治經濟工作我ガ方ニ引續キ好轉シ、動搖ノ跡モ全然認メラレズ、農業、水産、[illegible]等ニ見ル可キ[illegible]等全然ナク、[illegible]其ノモノハ完全ナル[illegible]ニ於テルト同地附近ノ人ガ支那將兵ニ命ヲ[illegible]タル[illegible]モアリテ、[illegible]ノ縣市等ノ[illegible]占領ヲ心掛ケタル一方支那兵ニ於テモ浙江附近ニ遁竄シタルノ作戰遂行ニ當リテハ諸[illegible]ノ經濟的謀略的效果ヲモ擧ゲシメタルヲ實[illegible]シ得タル[illegible]モアリテ充分其ノ效果ヲ收メ得タリ、而シテ實夫作戰ノ主目的ハ之ヲ遂行スルニアリタル處既ニ蘇州ニ於テ[illegible]

(イ)政治的工作　事變以來[illegible]ニ直屬シ[illegible]今

[illegible]工作ノ實情

ハ、唯今後ノ[illegible]在住如何カ問題視セラレ居レリ。

擔當機關タル蕪湖政治工作委員會（橋本少將ヲ委員長トスルモノニテ從來ノ占據地ガ特務機關係ニ指導サレタルモノト異ル）ニ內面指導サレ居ル蕪湖維持會（支那人ノミ）ガ徹底セル自治ノ下ニ治安、財政、文化等各般ニ亘リ目覺シキ活躍ヲナシ居リ、目下ノトコロ一回ノテロ事件モナク治安狀態極メテ良好ニシテ、當初懸念セラレタル傳染病モ格別大事ニ至ラズ、住民ノ復歸スルモノ極メテ多ク、現在人口約三十萬ト作戰前ノ水準ヲ突破スルニ至レリ。

㈡經濟的工作　蕪湖ノ經濟復興工作ハ金融關係ヲ首メ總テ在來ノ各機構ヲ復活セシメ、一方通貨ニ於テモ軍票ヲ使用セズ最初ヨリ法幣一本槍ヲ以テ進ム方針ノ許ニ着手セラレタリ、即チ先ヅ

イ、金融關係以外ノ經濟復興狀況ヲ見ルニ、他ノ占據地工作ト異リ蕪湖

ヘハ營利本位ノ利權獨占政策ハ一變親日的日本人ハ勿論日本人ヲ一切排除シテ純然タル支那人ノ組織ヲ復活セシメタル結果今日迄ニ既ニ各種商店ハ勿論土產物資買付業者、問屋、貿易業者、倉庫業者等モ殆ンド全部復歸シ、殊ニ日本人ノ割込ム餘地ナキ迄ニ至リ、各業種別会會モ既ニ六十餘ニ達シ、之等ノ統一聯合体タル華商商會（一種ノ商業會議所）モ在來ノ同地有力者ノ手ニ依リ七月發會、活動ヲ開始シ事後ノ經濟組織ハ全般關係ヲ缺ケズ殆ンド占據前ノ狀其ノ儘ニテ復興整備セラレタリ。次ニ

2、金融方面ノ復興狀況ナルガ事前ニハ從前政府系四行支店ヲ首メ十二ノ銀行ト大小四十五ノ錢莊アリテ、事變後モ主要土產物資ノ輸出、重要資材ノ輸入等戰時貿易金融上ニ演ゼタル役割ハ相當大ナルモノ

直接買付ノ輸入禁制時買品金額上ニ減シタルモ我國ハ相當大ナルモノノ銀行ト大小四十五ノ錢莊アリシガ、事變後ハ主要土產物資ノ輸出、

2、金融方面ノ復興狀況ナルガ事變ニハ從前政府系四行支店ヲ首メ十二興整備セラレタリ。六二

---

事變ノ經濟的影響ハ金融關係ヲ論シ殆ド占領當局ノ總其ノ他ニテ復商會議所一モ在來ノ同地有力者ノ手ニ依リ七月發會、活動ヲ開始會モ既ニ六十餘ニ達シ、之等ノ統一聯合體タル事業聯合會（一一）ノ設シテ全部復歸、最早日本人ノ割込ム餘地ナキ迄ニ至リ、各業種別公實面活ハ殆ド土著物資買付業者、問屋、貿易業者、倉庫業者等モ猶服シテ約飴タル支那人ノ組織ヲ掌握シメタル結果今日迄ニ既ニ各（一）ヘハ營利本位ノ利權屋的或ハ一旗組的日本人ハ殆ド日本人ヲ一掃

アリタル處、早クヨリ我方ノ同地攻略ヲ察知シ皇軍作戰開始三、四ケ月前ヨリ撤退ヲ準備セルモノヽ如ク、營業所跡ニハ何等ノ參考書類ヲモ殘サズ、彼ノ堆積サヘ認メラレタル由ニテ、資金ノ如キモ政府系ノモノハ早業ヨリ大部分浙江省政府所在地タル永康ノ各行保管庫ニ置キ、他ノ銀錢業ノ資金モ錢莊—一般銀行—政府銀行テフ有機的聯繫ノ許ニ一應托生的ニ永康又ハ上海ヘ移サレタルモノト見ラル。從テ同地攻略後ハ政府系銀行ハ勿論、他ノ銀錢業モ資金的ニ之等ト連リアルタメ復歸セズ在來機關ノ復活工作ハ行惱ミトナレリ、依テ我ガ方ハ當初ノ方針ヲ更メ横濱正金銀行ヲシテ同地ニ營業所ヲ開カシムルコトヽシ六月十日同行上海支店ノ派出所トシテ店舗ヲ開設シタル處其後ハ之ヲチヤンネルトシ上海ヨリ資金ヲ取寄セテ錢莊ノ復

タル處其額ハ之ヲ今ヤ少ナルトシ上海ヨリ資金ヲ取寄セテ融通ノ處シムルコトトシ六月十日同行上海支店ノ派出所トシテ店舗ヲ開設シ我方ハ當初ノ方針ヲ變ヘ横濱正金銀行ヲシテ同地ニ營業所ヲ開カ遂リアルタメ舊態ナス在來機關ノ資活工作ハ行詰ルトナリ、依テ從テ同地攻略後ハ政府系銀行ハ勿論、他ノ銀錢業モ資金的ニ之等ト的聯繫ノ許ニ一蓮托生的ニ永康又ハ上海ヘ移サレタルモノト見ラル。

東ニ置キ、他ノ銀錢業ノ資金モ殘置一一般銀行一應假營業ヲナス有様帯系ノ金ノハ手業ヨリ大部分浙江會員系所在地タル永康ノ各行ヘ營團ヲモ撤サズ、業ノ推進サヘ認メラレザル由ニテ、資金ハ他ヘ取寄ヲ局面ヨリ撤退ヲ準備セルモノヽ如ク、營業所開設ニハ何等ノ準備ナリタル處、早クヨリ我方ノ同地攻略ヲ察知シ皇軍作戰開始三、四

業又ハ開業スルモノ漸増シ既ニ十八ニ及ビ、正金ヲモ加ヘ銀錢業公會結成ノ準備モ進ミ居リ、又中央儲備銀行ニ於テモ支店開設方考慮中ノ由ニテ金融機關ノ復興モ一應其緒ニ就キタルモノト觀ラル。特ニ正金ニ於テハ預金事務ノミナラズ、開店早々支那人關係ノ預金約八十口ニモ達シ、軍票法幣片交換關係ヲモ併セ一日百名以上ノ支那人顧客アル由ニテ、斯クノ如キハ他ノ占據地ニ於テハ曾テ例ヲ見ザルトコロニシテ、軍關係資金ノ受拂モアリ現在十名餘ノ日支人行員ニテハ手不足ナルタメ近ク增員ヲ考慮中ニテ、中支所在店舗トシテハ上海、漢口ニ次ギ南京ニ匹敵スル繁忙振リヲ示シ居レリ。今

3、同地ニ於ケル通貨流通竝ニ上海トノ資金移動狀況ヲ覗クニ我ガ方使用通貨ハ軍票ヲ上ガ支拂ヨリ法幣ヲ以テシ軍ノ現地物資調辨費ハ勿論將兵ノ給與等モ現地消費分ハ法幣ニ交換搬出シ正金進出後ハ之ヲ

給料又ハ給与等モ現款給与分ハ法幣ニ交換輸出シ正金銀出張ハ之ヲ
円価賃ハ軍票ヲ止メ漸次ヨリ法幣ヲ以テシ軍ノ現地物資調弁費ハ乃
8、同地ニ於ケル商貨流通並ニ上海トノ資金移動状況ヲ見ルニ資金ガ流往
上海、漢口ニ失ヒ南京ニ回収スル様相ヲ示シ居リ、今
ヤ円ハ手不足ナルタメ近ク増調ヲ余儀中ニテ、中支所在法幣ナシトハ
キモノニシテ、軍票価値安定、安定セテリ現在十余億ノ日支人行員ニ
人類並下ノ由ニテ解クル加ヘ八億ノ占領地ニ於テハ今テ側ヲ見テル
八十口ニキ増シ、軍票流通ハ交易関係ヲキヰル一日百名以上ノ支那
ニ正金ニ於テハ資金容易ノ見ナラズ、為替早ク支那人側ノ回余利
中ノ由ニテ金融機関ノ重要ナ一面其ノ実ニ就キタルモノト観ラル。特
金融政ノ準備モ整ヘ居リ、又中央儲備銀行ニ於テモ支店開設方準備
業又ハ開業スルモノ漸増シ既ニ二十八ニ及ビ、正金ヲモ加ヘ銀行業務各

シテ軍票公定レートニ依ル軍票ヲ法幣ヘノ片交換ヲ軍指定ヲ以テ行ヘシメ、極力市中滞留分ヲ引揚グル方針ヲ採リ居ルタメ軍票ノ市中流通高ハ極メテ僅少ニシテ、松井兵団ノ新東地区ニ於ケル一ケ月ノ軍事費支拂額中法幣ハ約五十萬元ナルニ對シ軍票ハ僅ニ約七萬圓ニ過ギズ。因ニ我ガ軍入城前ノ同地法幣流通高ハ大約七、八百萬元ト推定セラル、ガ其ノ内約五百萬元ハ所謂大票（政府系銀行ノ發行セル民國二十九年版重慶印入百元券及ビ五十元券）ニシテ上海其ノ他ニテハ流通セザル等ノタメ百元券ノ如キハ八十元程度ノ闇相場ナリシガ皇軍入城ト共ニ民國二十九年版ノ法幣ハ總テ通貨ト認メザル方針ヲ採リタルタメ入城後三ケ月餘リニシテ大票ハ殆ンド跡ヲ絶チ上海並ノ法幣ニ一元化ゼラル、ニ至レリ。

上海トノ間ノ資金移動狀況ヲ見ルニ、正金ヲ經由セルモノ六月十日以降八月末迄ニ八百五十口、三百萬元、其ノ他當地支那人ノ持込ミタルモノ（正金開店後ハ全部同行ヲ經由セシム）及軍自身持參セルモノ許現金約三百萬元、最近漸ク數ヒヲ初メタリト認メラル、錢莊經由送金一、二百萬元アリ、結局合計約七、八百萬元ノ資金ガ上海ヨリ送ラレ居ルト推算セラレ、作戰當ノ事後資金在高大約二千萬元ニ比シ商貨少ニシテ特ニ棉花、茶等ノ買付進捗スルニ於テハ更ニ相當ノ資金ノ流入ヲ要スルモノト見ラル。一方上海向送金ハ軍資移動不圓滑ノ折柄トテ正金經由ノモノ八月末迄ニ三十口十五萬元ニ過ギズシテ全クノ片道貿易ナリ。尙資金移動ノ我ガ方統制トシテハ仕向ハ全部陸軍經理部上海出張所ノ許可ヲ要シ（八月一日以降一千元未滿

ノ小口ハ五金限リニテ取扱ハシム）、被仕向ハ一口一千元ヲ超ユル入拂ニ付財務官ノ承認ヲ要スルコトヽセリ。

## 三、事後工作ノ效果

前述ノ如ク事後工作ハ現在迄ノトコロ大體成功ト言ヒ得ベキモ、右ハドコ迄モ占領地ノ復興テフ消極的效果ニ止リ、既往並ニ今後ニ於ケル人的（大部隊ノ駐屯）、物的犧牲ガ眞ニ酬ヒラルヽヤ否ヤハ此工作ノ結果我ガ方ニ積極的效果ヲ齎スモノナリヤ否ヤニ繫ルト云ハザルベカラズ。然ルニ事後地區ソノモノニ產スル物資ハ鑛石、良質ナラザル綿花、鹽等ヲ除キ目星シキモノナク、又此處ニ流入ヲ期待セラルヽ、桐油、茶、豚毛、蠶糸等ノ土產品モ今日ノ貿易事情下ニアリテハ其ノ效果殆ンド無キノミナラズ浙江當局ヲ我ガ方ニ誘引シ或ハ重慶トノ局面展開ヲ期待スルコト

今支那事變ノ現段階ニ於テハ困難ト見ラレ、結局宣撫工作ノ續行ハ其ノ効果頗ル疑問ナリト観ラレツヽアリ。

以上

海甘二八号

昭和十六年九月二十七日

上海駐在参事

外務省通商局長宛

客年六月以来（当地陸海軍ニ依リ）実施ノ物資搬入取締ハ其後屢次ノ拡張強化ヲ経テ軍票価値維持上相当ノ効果ヲ挙ゲ来レリトハ云ヘ一面上海地域内ノ経済諸活動ヲ阻（ニ支）障アラシメタルヲ（モ）疑ヲ

容レズ政府其他日支各方面ヨリ之カ適当ナル緩和ヲ要請セラレ居リ依テ現地軍経理部ヨリ申出ノトシテ改正ヲ考究中ナリシカ今般揚子江下流軍占據地域物資移動取締要領別紙ノ通リ決定シ之ヲ公表アリ来ル十月一日ヨリ実施ノ筈ナルモ右改正~~[illegible]~~ノ要点左記ノ~~[illegible]~~如クニシテ必スシモ取締緩和トハ云ヒ難ク実情ハ今後ノ推移ニ俟ツ外ナキモノト看取セラル不取敢御報告申上候也

記

一、物資移動取締方針ノ変更　　対敵経済封鎖ハ徐々緩化ノ方針ニテ前線ニ於ケル対敵封鎖線ハ徐々之ヲ緩和ニ実施シ、占拠地域内部ニ於ケル移動制限ハ期ヲ限リ之ヲ撤廃セントス

一、中央及地方物資統制委員会ヲ設クルコト　　従来ハ物資搬出入ニ関スル事項ハ概ネ総軍司令部第七課上海出張所（支那派遣軍経理部上海出張所ノ防諜名ニシテ以下単ニ第七課ト略称ス）ニ於テ専断スル所ナリシモ、今回現地物資統制ノ最高機関トシテ中央及地方ニ夫々日支軍官ヨリ成ル物資統制委員会ヲ設クルコトトセリ、中央物資統制委員会ハ総軍参謀副長ヲ委員長トシ、陸海軍、大使館並ニ国民政府側ガ委員トシテ之ニ加ヘリ、搬出入ニ関スル根本方策ハ勿論毎月ノ搬出需要数量表ニ至ル迄総テ本委員会ニ於テ審議決定スルコトトシ、幹事役トシテノ文書、連絡等ハ総テ第七課之ニ当

ル、地方物資統制委員会モ右中央委員会ニ準シ各地方駐屯兵団ヲ単位トシテ組織シ常時中央委員会ト連絡ス

「南北支其ノ他中支以外向物資移動取締ヲ規定化セルコト　従来ハ上海ヲ中心トスル搬入、搬出ノ二本建ニシテ上海地区ヨリ南北支其ノ他中支以外向物資移動ノ取締ニ関シテハ規程不完全ナリシヲ新ニ規定化セリ

「取締機関ヲ一元化セルコト　搬出入許可機関ヲ陸軍ノ第七號、海軍ノ第一部五課両部ニ統一ス

「規定ヲ公表セルコト　現行物資移動取締ニ関スル規定ハ部内限ノモノニテ従来其ノ内容等一般ニハ周知セラレザリシガ今般之ヲ一般ニ公表シ、民衆ノ理解ト協力ヲ促サンコトヲ期セリ。

# 揚子江下流軍占據地域物資移動取締暫行規定

## 第一章　總則

第一條　本規定ハ揚子江下流日本軍占據地域（以下單ニ軍占據地域ト稱ス）ニ於ケル物資移動取締ニ關シ規定スルモノトス

第二條　敵地トノ物資交流ハ原則トシテ之ヲ遮斷スルモノトス

第三條　特定物資ノ上海地區ニ對スル搬出入並ニ江陰下流揚子江及黄浦江江岸ヨリ軍占據地域外ヘノ搬出ハ之ヲ統制スルモノトス

本規定ニオケル上海地區ノ範圍ハ上海周邊ニ設クル統制線内トス

第四條　軍占據地域内部ニオケル物資ノ移動制限ハ特ニ規定スル場合ノ外之ヲ行ハサルモノトス所定ノ陸海軍許可證明ノ外支那派遣軍總司令官又ハ支那方面艦隊司令長官ノ認可ヲ得ルニ非サレハ物資搬出入許可證又ハ之ニ類

係ノ文書ヲ發給スル事ヲ得ス

### 第二　物資移動ノ禁止及制限

第五條　物資ノ敵地ニ對スル搬出ハ一切コレヲ禁止ス

第六條　付表第一ニ揭クル第一號物資ノ移動ハ一切コレヲ禁止ス但シ軍用品及支那派遣軍總司令官又ハ支那方面艦隊司令長官ニオイテ認可セルモノヲ除ク

第七條　付表第一ニ揭クル第四號物資ニツイテモ軍警備維持上必要アル場合ニオイテハソノ移動ヲ制限スルコトアルヘシ

第八條　付表第一ニ揭クル第二、第三及第四號物資ヲ上海以外ヨリ軍占據地域內ヘ搬出セムトスルモノハ陸軍警備地域ニ在リテハ支那派遣軍總司令部第七課上海出張所長海軍警備地域ニ在リテハ第一[illegible]部長ノ許

令部條例第七條上海[illegible]地域ニ在テハ第一遣支艦隊[illegible]ノ許

第[illegible]條 [illegible]內ハ[illegible]

第八條 付表第一ニ掲クル第二號第三號及第[illegible]物資ヲ[illegible]

ニ[illegible]トキハ其ノ[illegible]スルコトアルヘシ

第七條 付表第一ニ掲クル[illegible]軍事上必要アル場合

ノ外之ヲ[illegible]

品及支那[illegible]司令官又ハ支那方面[illegible]司令長官ニ於テ許可スルモ

第六條 付表第一ニ掲クル[illegible]ヲ禁止ス但シ軍

第五條 [illegible]ヲ禁止ス[illegible]

附二 [illegible]

條ノ文書ヲ[illegible]

---

可ヲ受クルモノトシ其ノ許可證ヲ有セサルモノハ其ノ搬出ヲ禁止ス

第九條 付表第一ニ掲クル第四號及第五號物資ヲ軍占據地域ヨリ上海地區ヘ搬入（又ハ江蘇下流揚子江及黄浦江沿岸ヨリ軍占據地域外ヘ搬出（江蘇省ノ他地區ヲ許可セルモノヲ除ク）セントスルモノハ陸軍管轄地域ヨリノ分ハ支那派遣軍總司令部第七課上海陸軍部長（海軍管轄地域ヨリノ分ハ第一遣支艦隊司令部長）ノ許可ヲ受クルモノトシ其ノ許可證ヲ有セサルモノハ其ノ搬入又ハ搬出ヲ禁止ス

付表第一ニ掲クル第二號及第三號物資ヲ江蘇下流揚子江及黄浦江沿岸ヨリ軍占據地域外ヘ搬出（江蘇ノ他地區ヲ許可セルモノヲ除ク）セントスル場合ニ在リテモ前項ニ準シ許可證ヲ有セサルモノハ搬出ヲ禁止ス

第十條 小量ノ自家用物資ニ就テハ前二條ノ許可ヲ要セサルモノトス其ノ

標準左ノ如シ

搬出入制限物資中自家用ト認ムベキ標準

一、搬出（上海地区ヨリ）

綿布（五ヤール）、綿糸（三オンス）、人造糸布（五ヤール）、毛織物（五ヤール）、毛糸（三オンス）、煙草（百本但葉巻ハ二五本）、燐寸（小箱五ケ）、砂糖（一斤）砂糖ニ還元シ得ル菓子モ同量、蝋（一斤）蝋燭（大本一箱）、蝋燭原料（二〇〇瓦）、石鹸（半打）、食用油（約五合一瓶）

一、搬入（上海地区ヘ）

米（三斤）、小麦、小麦粉（五斤）、豆類（五升）、卵（二十個）、茶（一斤）

備考

一、豚毛、豚腸、桐油、綿花生糸生糸屑、繭ハ自家用トシテ認メズ

一、前記以外ノ物資ノ自家用標準ニ就テハ適宜認定スル所ニ依ル

[redacted]

## 第三　物資輸出入許可手續

第十一條　第八條ニ依リ輸出又ハ第九條ニ依リ輸入（移出共）ノ許可ヲ受ケムトスルモノハ前者ニ在リテハ付表第二後者ニ在リテハ付表第三ノ様式ニ依リ夫々所要事項ヲ記載シ署名捺印セル輸出（入）許可願書正副三通ヲ提出スルモノトス

第十二條　輸出入許可ノ申請ハ當該物資ノ所有者又ハ賣買契約當事者ニ於テ自ラ之ヲ爲シ他ニ委任シ又ハ代行セシムルコトヲ得ス

第十三條　輸出（入）許可證ノ交付ヲ受ケタルモノハ該許可證交付機關[illegible]示ス所ノ條件（許可證所載）ニ服從スルモノトス

第十四條　輸出（入）許可證ハ之ヲ他ニ賣買シ又ハ讓渡ヲ爲スコトヲ得ス

## 第四章　取締及罰則

第十五條　輸出入取締特ニ上海地區ニ於テハ憲兵主トシテ之ニ當リ領事館警察、支那側警察、稅關之ニ協力スルモノトス

陸海軍特務機關又ハ上海海軍武官府支那側軍隊ハ所要ニ應シ前項取締機關ヲ援助スルモノトス

陸海軍警備部隊ハ作戰警備ノタメ必要アル場合及現地ニ取締機關ナキ場合ハ自ラ取締ヲ行フモノトス

第十六條　本規定ニ違反シ又ハ違反セムトスルモノハ軍律ニ照シ處斷セラルヽモノトス

## 附　則

「本規定ハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

一、本協定ノ実施ハ揚子江航行ノ取締並ニ外人ノ旅行居住等ニ関スル取締ニ関スル協定ノ適用ヲ妨グルコトナシ

▲附表第一

移動禁止又ハ制限物資

第一種物資

1、兵器弾薬類（但シ国民政府軍事委員会ノ許可セルモノヲ除ク）

2、火薬及同原材料（但シ国民政府[illegible]局ノ許可セルモノヲ除ク）

3、阿片及麻薬（但シ国民政府禁煙総局ノ許可セルモノヲ除ク）

第二種物資

1、各種自動車及同部分品　2、「ガソリン」及石油類

3、各種機械類　4、通信器材（部分品ヲ含ム）及軍需